臺灣日日新報 夕刊
八月二十九日
夕刊定價一部 錢
發行兼編輯人 前野 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目三十二番地 臺灣日日新報社
基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

奉天警察署の非常召集

【奉天二十九日發聯合】匪賊の來襲に奉天警察署は非常召集を行ひ全員出動した

匪賊、奉天に來襲し
市内大混亂に陷る
日滿軍憲、警察隊之れに應戰
敵彈飛行場に落下して燒く

【奉天二十九日發聯合】今曉零時半兵匪は奉天南北地區並びに市內より相呼應して一齊に奉天を襲撃北方よりは北大營無電臺附近より襲撃し來り目下靖安遊擊隊と激戰中で一方南方渾河堡より襲撃せる一隊は漸次附屬地堤防に迫りつゝあり我軍警必死の防備中更に又商埠地北市場にも便衣隊の一隊現はれ滿洲國警察隊と激戰中で今や奉天市は一大混亂に陷つた

【奉天二十九日發電通】本月初めより奉天襲撃を企てつゝあつた匪賊團は今回關東軍首腦部の更迭の機に乘じ二十八日午後十一時半渾河方面より奉天附屬地、奉天城、飛行場三方面に向け襲來し盛んに發砲し滿洲國公安隊と奉天城、大南邊門外で激戰午前二時附屬地大南門附近の兵匪は撃退され平靜に歸した兵工廠附近には尚銃聲絶えず賊彈我が飛行場の器材格納庫に落下火災を起し盛んに燃えつゝあり飛行機には損害なし

【奉天二十九日發聯合】今曉零時半敵彈のため奉天城外兵工廠附近に火災起り目下延燒中（號外再錄）

渾河公安隊長林子章が
學良に買收されての來襲

【奉天二十九日發電通】襲來した匪賊は豫ねて態度を疑はれてゐた渾河公安隊長林子章が今回學良に買收され第三軍長に任命され部下匪賊約三百名を率ゐて來襲せるもので我飛行場奉天兵工廠をも襲撃し飛行場附近に火災起つた（號外再錄）

渾河堡に向つて
我軍一齊に攻撃開始
滿鐵附屬地も一時は動搖

【奉天二十九日發電通】奉天城を襲撃した賊團は一千名で三隊に別れ一隊は二十八日午後十一時半東方大南邊門より、一隊は二十九日午前零時半東方兵工廠方面より、一隊は同一時北方東北無電臺方面より進撃前進し來り、急行した我軍裝甲自動車隊、タンク隊と激戰數時間に亘り、奉天城は一時賊のため三方より包圍され危險となり、日本人居住の滿鐵附屬地も動搖するに至つたが日滿軍は午前三時すぎ敵匪を全く撃退した、我が○○部隊は匪賊を東西より挾撃すべく渾河西方地區を占領し、東方より賊團を追撃し來れる我が○○隊タンク隊と滿洲國軍と呼應し敵匪を全く渾河に壓迫し賊の根據渾河堡に向け一齊に攻撃を開始した

我憲兵その他負傷

【奉天二十九日發聯合】在城奉天憲兵隊の兵匪討伐中の城內派遣憲兵隊鈴木軍曹は右腕貫通銃創を負ひ通譯手と邦人も負傷を受つた

【奉天二十九日發聯合】靖安遊擊隊は兵工廠方面の敵匪と激戰邦人居住外滿洲人二名戰死した

【奉天二十九日發電通】奉天城大南門方面の戰況視察中の奉天憲兵隊鈴木軍曹川島上等兵は賊彈の爲負傷した

【奉天二十九日發聯合】東邊門附近火災現場偵察中の奉天警察高山巡査部長は敵彈を受け負傷した

匪賊と合流我軍を襲撃頭目[illegible]指揮の部下數十名は武器を携へ五名負傷した、附近一帶は非常に惡化した、小東門外小南門外に約五百の匪賊ある模樣

（號外再錄）

馬玉麟の部下
一千名が集結
昨夜半洗家屯に

【奉天二十九日發聯合】敗兵匪の便衣部隊大刀會百餘名、馬玉麟の部下一千名は二十八日午後七時渾河南岸を經て奉天に向け南進を開始したが大部隊は城內を距たる二十支里の地點洗家屯に集結午前一時を期し襲撃の模樣

尾關特務曹長
戰死

【奉天二十九日發電通】兵工廠警備の特務曹長尾關秀（福島縣人）は戰死した

裝甲自動車隊
襲撃さる
五名は負傷

【奉天二十九日發聯合】兵工廠警備の爲に急遽出動した我が○○隊島田特務曹長指揮の裝甲自動車は大南門外に激戰したるに同地[illegible]

豫算總會（二十八日）
藏相は窮すれば
『辯じなさらん』
小川氏皮肉る

七時半開會

小川郷太郎氏（民政）質問　豫算組合のため預金部が必要な場合預金部から際限なく融通するか

藏相　預金部を破壞する[illegible]行かねばならぬ場合はある

小川氏　預金部の金が無くなればどうする所有公債を日銀に賣却してその金を出してやるか

藏相　必要な場合に出せれば出してやると言ふ外ない

と突つ放し

小川氏　前議會にて可決された支那人復興資金貸出が未だ實行されてゐないのは何故か

內田外相　遠からず貸出を實行するに至る筈である

小川氏　農村救濟策に對する藏相のお考へがはつきりしない

と藏相の意向を訊ねるも藏相相手にならず

小川氏　藏相は窮すれば辯じなさらん

と議場を笑はせる

小川氏　公共團體の損失に對し國家が策を講ずる必要はないか

藏相　民間會社が好景氣に[illegible]した外價が下落したからとて一一取合つて居られない

小川氏農村救濟策につき研究した後「縮ろに策を樹てられたい」と結ぶ、次で

高田耘平氏（民政）農民負擔の過重を說いて藏相の考慮を促し最後に小作法制定に關し制定の急務を說き之に對し研究してゐるが今の所出すとも出さぬとも決めてゐないと答へ次で濱田國松氏（政友）より動議として[illegible]のため中島[illegible]局長の出席を要求し十時十分散會、二十九日は午前十時より續行の筈

老藏相に同情した
岡田名委員長

【東京二十九日發本社特電】二十八日の豫算總會で民政黨の小川郷太郎君が高橋藏相にネチ〳〵と喰下つて七十九歲の老藏相を二分と椅子に掛らせておかないので心配した岡田豫算委員長

「大藏大臣に掛けて答辯が出來る樣にさせたいと思ひます」

と職權に據つて藏相の安樂椅子を議場のそばに運ばせたので岡田君の思ひやりに感心した政友會席から思はず

「名委員長！」

その日その日

○お膝元の楽天か、修羅の巷となつた、何といふこと

○かねぐ何かあるべく豫想されてゐた筋が、勃發したまで、匪賊ども功に焦り過ぎた

○この蠕蛹の存在が、滿洲國の厳然たる存在に對し何をなし得るものか、全く無謀の妄擧

○武器を撒き、事變に乘り込んで早速匪賊から見捨てはれる、之も凡て

○は我が兵力の鎮少から

○旅先からの田畑を抵當に入れ金を借り子弟を大學に入れて高等遊民を製造してゐる——

○之は貴族院でのお談議だが「議場ナンセンス」とも聽き流されぬ

○五・一五事件の内容が陸海の両相から報告された——

○相變らず金や拳銃の出所は○○、國民の疑惑を解くべく速かに事件の内容を公表せよ

○第一位の私議でなく、公器として公議に終始するが好い、國民を愚にしないで……

○野村中將の選米持派は極めてよい思ひつき、何も好んで日米が感情を傷き合ふ必要もない

○總督、跋北刻々、島都の水害視察を行ふ、水災に就て餘程關心を持つと見える

○男女とも水泳の公選新記錄出は結構だが、日本新記錄はめつたに出ない、理想は高く持て

政友の態度に
陸海兩相は不滿
強硬な意見を述べて
齋藤首相を鞭撻

【東京二十九日發電通】政府と政友會との確執のため本議院[illegible]近きとして[illegible]まず現內閣の使命は[illegible]果されない急迫せる事態に直面したが、斯る[illegible]事態の急變につき荒木陸相、岡田海相はその成行を大に憂慮し二十七日夜石井陸軍參與官をして柴田書記官長を訪問せしめて軍部の意見を首相に進言する所あつた、二十八日午後十時には岡田海相も柴田書記官長と會見して強硬なる意見を陳べて同じく齋藤首相を鞭撻する所があつた、軍部兩相は何れも政友會の態度に不滿の態度を持ち[illegible]首相が優柔不斷の態度で事に臨む一方政府に於て强ひて米穀米價[illegible]ために所信斷行に邁進することとなるからこの重大時局を擔當すべく生れた現內閣の本來の使命に立返つて所信に向つて斷乎たる態度を執られたいとの意から發し

議會終了後に
內閣を引退させる
◇……政友會の肚

【東京二十九日發電通】米穀[illegible]北海道を中心とする米穀法改正案と國家[illegible]案を廻つて紛糾を醸されてゐる議會の形勢に就ては政府と政友會が對立の形勢にあるが[illegible]止に賛成し政友會の主張を容れんとする場合には後藤農相の辭職となり內閣閣僚の瓦解を賭くやも知れず、要は內閣は危機に立つてゐる譯である、然も政友會が果して內閣の倒壞を期してまで在閣黨に對する非常を貫かんとするものなりやに至つては疑問とすべき點あり、即ち非常時救濟を目的として開かれた議會に於て政友會が自我を主張して內閣倒壞を見、爲めに

不充分　とは言へ折角組立てられた時局匡救策の不成立を見るやうな事があつては政友會はその責を負はねばならぬ、之は政友會にその臨村議員の拱へる所でなく結局政友會は倒閣を目的とせずその威力を政府に知らしめ議會終了後に內閣を引退せしめんとする肚であると見られてゐる

主張が容れられねば
辭職か、脫黨せよ
重要案に對する政友會の態度硬化
二十九日幹部と委員長との協議會

【東京二十八日發電通】政友會は二十九日午前九時から院內控室に於て幹部と豫算委員長外各特別委員長との聯合協議會を開き豫算案並に各重要法案審議方針及び之に對する黨の態度に付き協議することとなつたが重要法案に對する黨の態度は依然强硬で中央金庫法と卒勢米價の二點に對する政府の態度が閣議で決定せらるる場合黨出身閣僚は飽くまで黨の主張を固執し若し容れられざれば辭職せよ、辭職が嫌なら脫黨せよとの强硬意見擡頭し來り案の將來と政府對政友會の關係に重大結果を齎すものと注目されてゐる

國同は無關心

【東京二十九日發電通】國民同盟は大體米穀法そのものに反對してゐるので米勢米價問題には關心を持たず政府對政友會の抗爭にも自然干與せぬことに內定した

政府を威壓すれば
斷乎として最後手段
けふ政府の態度決定

【東京二十九日發電通】政府と政友會との對立に就きこの善後策を講ずるため齋藤首相は二十九日午前九時首相官邸に於て柴田書記官長と熟議する所あつたがその結果此際政友會に對しては飽り[illegible]を以て難關の突破を圖ることとなつたが、若し政友會にして時局匡救を妨ぐるが如き主張を固執し政府を威脅するに於ては斷乎として最後の手段に出づべきことに決意した、[illegible]この政府の最後的決意をなせる場合總辭職を斷行するか、或は[illegible]を以て望むかに就ては今後の成行に依るものと見られ[illegible]に政友會の[illegible]なり、總辭職の外に道なかるべしと言はれてゐる

生絲暴騰で
立會延期

【横濱二十九日發電通】横濱生絲取引所は休日中した當地生絲市場は休日中ナショナル生絲の解禁から人氣沸騰し當限だけは納會の爲め九十九圓十錢と寄つたが九月限は百七圓と新高値騰で賣物なく一時立會中止のやむなきに至つたので立會延期となつた

人事

▲友部豫務局長　中川總督に隨行中のところ二十九日朝歸北

▲深川遞信部長　二十七日より總督に隨行中二十九日朝歸北

▲榎原仲治氏（臺灣電力監査役）二十八日來臺（鐵道ホテル）

無絃琴

▲政務官の一人だつた[illegible]之佐君に就て商工政務次官の金ピカ當時に來臺したことがあるが當時しみ〴〵述懷して曰く「代議士に打て出てから悪分が持つてゐた物も徒々の選擧毎に賣り盡し、今は拳固にある財産なくかも遣かな細くなつた[illegible]の選擧[illegible]おすなやせう・人間[illegible]に殊を待[illegible]

火の鳥
(177)

耳を掩ふ（三）

加能作次郎作

石塚輸畫

[illegible]たうといふなら決して樂派院議員などに打て出てはなりませんね……」▲同君の晩年は不幸に氣の毒であつた、選擧には落選する、胸の病氣にはなる、家庭にあつた弟の柳樹君は先立たれる、おまけに自分まで病氣で死れるといふ實ね〳〵といふところ。

[illegible]弟で心ある人々の間には同情されてゐる、▲同この間夫人を失つた殖產局の技師山田拓採君は柳樹君とは義兄弟の間柄だ、といふのは夫人同志が姉妹で二人とも首腦陸軍中將の姪妹である、山田技師も

「どんなことがあるんですか？」

貞夫は山野の言はうとするところを大體察してゐたが、故ら興味を持つてのやうに尋ねた。

「要するに、總務と英保子との的關係がその故なんですよ。」

山野は何事にもよく「要するに」と論的に言ふ癖を持つた男だつた。

「と言ふと？」

「あなたも御存じでせうが、英保子は總務のレコでせう（と左手の小指を示して）ですからね、ははは。」

「さうなんですか。」と貞夫は始

終子と聞いて、貞夫はさつと面を曇らしたが、何氣なく。

「どんな樣子ですか。」と尋ねた。

「さあ、今頃に囑目係をやつてゐるんですが、あまり期待出來さうもありませんね。併し、マネキンをやつてゐた英保子なんかと違つて、ああいふ一種の名譽と過去を持つたインテリ女ですから、さういふ意味で、相當の人氣は呼ぶでせうがね。」

その時二人はもう尾張町へ來てゐた。

丁度ストップのかかつたところで、二人は三越の入口の所で、人込に押されながら立止つたが、山野

も自然そこで一寸中絶された。

貞夫はこれを機會に、三越に買物をするからとでも言つて別れようかと思つたが、一寸躊躇してゐる間に「進め」が出て、山野が強ひ早く向側へ渡つて行つたので、つい誘はれるやうにその後を追つて行つた。すると山野が待受けてゐて。

「如何ですか、不二アイスクリームへでも一寸お寄りになりませんか。實は、少しお話したいこともあつたりしまして、今夜品川まで行つた序に、お差支なかつたら、お宅へお伺ひしやうかとも考へてゐたんですが、それはまた後日にしまして、一寸休むだけに……」と誘つた。

「さうですね。」

貞夫はあまり氣が進まなかつた。此上また社の不平を聞かされたり、結子の噂など聞けれたりするのは厭だつたが、無下に斷ることも出來なかつた。

「と果せるかな、山野は冷たいコーヒを註文してから少し落ち着くと次のやうに言ひ出した。

「ところで今、新城結子と英保子とか、或る意味で大競爭を始めて居るといふことなんです。」

そして彼は何か、重大な秘密でも囁かうとする時のやうな樣子で、そつと四方を見廻した。

めて聞くやうに言つた。

「ところで、元々あの女なんか、マネキン位が丁度いいところなんで、教養もなければ藝もなく、到底映畫女優になんかなれる資格なんかないんですよ。それも仕出しの女中か何かに使ふならまだいいんですが、いきなり新進のスターなんかに仕立てて、主役を演らせるなんて、てんで問題ぢやないんです。そりやシナリオにも惡い所があるかも知れませんが、寫真に醜く撮れたもんぢやないんですよ。演技の惡るいのは當然で私なんかから見れば、よくもあんな惡劣なフィルムを公開する勇氣があつたもんだと、呆れ返る位のもんですよ。」

「さうですか、そんなに酷いものなんですか。」

「なつてないです。ところが、そのお尻かみんなこつちへ廻つて來るんですからね、恐らく英保子が勝俊の寵物語に、自分の罪を棚に上げて、監督が惡るかつたとか何とかと、大に口説たんでせうがね、はははは」

山野はそんな風に、散々に凝験や英保子をくさした。そして結論けた。

「これでお、新城結子の「シ……ャ遊んで」か作品が惡かつたて……世話ありませんね。」

九月新譜　人氣白熱!!
帝蓄レコード
伊那節（民謠）　花 [illegible]
夕立（勘五郎）
武藏屋新殿
吉田御殿
丸橋忠彌の妻
天國に結ぶ戀（坂田山心中）
淑子心中
へ上海
滿洲の上海娘
君留地の花嫁
居じき戀の悲劇
戰友の破り鳥の唄
愛國少女の唄
シヤンケンポイ
タヤけ小やけ
クリ・クリ・オ・メチ
オモチャノマーチ
兎が來た
春ポポ
小鳩ポポ
三十三間堂
安來節
部々逸都々逸
城ケ山
萬國
お歌と歌の商人
上州無宿
女房小子の裁判
夜間開くべからず
軍艦行進曲
君が代行進曲
大江山
中山安兵衛
天野喜代子　東京 [illegible]　木村 [illegible]　佐藤まり子　栗田れい子　原田光子　原田光子　竹本三藏　高島 [illegible]
各一枚　一圓
發賣元　奈良市　帝國蓄音器商會

仕入れは工場へ
商戰の勝利は仕入れにあり
蓄音器　オルガン
レコード　マンドリン
ハーモニカ　ヴアイオリン
ピアノ　シロホン
（卸相場表送呈）
名古屋市西區菅原町
佐藤樂器工場

ハミール

夏の皮膚病にデンチン
皮膚病特效ヴイタミンF入外用劑
夏のたゞれきづは癒りにくいものであるがたゞれた創面に本劑を塗布すれば非常に早く新らしい表皮が出來て實に快く治癒する
創面を刺戟しない、分泌が乾いて來る、繃帶がクツつかないでスラ〳〵と剝がれるなど世界的名聲を博せる治療劑！
くさ、おでき
糜爛性のあせも
水むし、水疱疹
定價一圓・五十錢
田邊商店
東京・大阪

臭氣鼻を突く中を 總督の風水害視察

金子巡査殉職地で特に停車 元ゴンドラ跡で感慨に耽る

東部及び西部の初巡視を終り二十九日午前六時十九分臺北驛着列車で歸北した中川總督は官邸歸着後急に臺北市內の暴風雨

被害の跡 を視察することとなり、午前八時友部總務局長、井手秘書官、中瀨臺北州知事、濱田技師、東田庶務部長らを隨へて官邸發、先づお詣りのため臺灣神社に到り山口宮司以下神職の出迎を受け殿に正式參拜をなし、ここから西澤市尹、岩田北署長も一行に加はり、目的の水害視察に移る、車中には中瀨知事が同乘し圓山の明治橋と水面とがスレ／＼になりもウ少しで危險に瀕した話などからはじまり圓山運動場わきのドブに自動車が落ちて北署の金子巡査が

殉職した 箇所ではわざわざ自動車をとめて感慨深さうに說明を聞き、それより一路大稻埕に出て大稻埕の中央に立つて內務局の濱田技師、岩田北署長、中瀨知事から地圖を擴げて色々說明をなした殊に濱田技師は明治四十五年の暴風雨による河川氾濫の狀況並にこれに對する當局の施設につき過去現在將來に亙つて說明し今回の浸水の原因をなした基隆川は向ふの方に切り離して淡水川本流などに[illegible]大稻埕浸水は[illegible]の方に[illegible]する理想案があるが經費がウンと掛るのでなかく實現至難の狀態である、然し大稻埕の下方の淡水河は將來に於て實行することになつてゐると說明し

總督は頷 いて之を聞いてゐたが「淡水川を臺北市に近づけぬやうにするにはどうしても大きな水溜めを作らねばなるまい」と注意を與へ北署長の臨機處置には頗る滿足の態で水害後の衛生には特に注意するやう一層激勵の言葉を與へ次で慘害の最も甚だしかつた萬華川岸に到り高山南署長が地圖によつて色々說明したが「現在僕等が困るところはどこだ」と總督から反問されて南署長、聊かどぎまぎする、地圖では要領得ないとあつて流された

ゴンドラ の殘骸の前に行き當時の狀況を詳細說明し總督も感慨深さうにこれを聞き色々質問もしてゐたが何しろ跡形もまだ充分ついてゐず、淤泥の臭氣紛々たるものがあるので一同鼻をつまんで來ず一路川端に到り堤防上で濱田技師の護岸に對する說明があり、中瀨知事これを補足した

か總督は向側の海山郡中和庄方面の浸水狀況はどうか、又大きな石を持つて來はせぬかと聞き、大きな石など運ばぬが然し向側にも要所要所に護岸の必要がある旨を知事や濱田技師から述べ更に

濱田技師 は臺北市を水害から救ふために川端の堤を現在より更に一メートル高める計畫進行中であると報告し、隨行の面々ソレでは川端の家屋は道路より遙かに低くなつてしまうとはしやぎ、斯くて總督は一時間四十分に亙り總ての浸水狀況の視察をなし水道町官邸に歸つた

臺北を護岸で圍み 下水の完備が必要

總督、水害の對策を語る

官邸に歸つた總督は友部局長、中瀨知事、西澤市尹らを相手にアイスティーを啜りながらゴンドラ附近を中心に淤泥を交へ萬華の裏通りの不潔なことにびつくりもウ少しきれいにして欲しいと注文してゐたが、さて一時間四十分の視察による感想は如何と總督の程を叩いてみると總督は

大要次の 如く語つた

[illegible]で被害の狀況を聞き益々ひどい樣で臺北、新竹兩州を合せ死者百餘名に上る狀況であるので目月潭、阿里山の視察を中止し急遽歸北したやうな次第だ、水害の跡を視察して感じたことは先づ臺北市の水害を防ぐこと、西部の水害を防ぐことの二段に分けて考へねばならぬが直接したところでは臺北市を護岸で取圍みそして

下水を完 備し出水の場合にはポンプで水をくみだす方法など最もよからうと思ふ、下水は勿論暗渠でなければいけないがからしたら或程度まで水害を防ぎ得るものではあるまいかと思はれる

浸水家屋は臺北市が一萬七千九百二十六戶、基隆市が千七百七十八戶、其他郡部が一萬五千四十二戶、其他破損家屋が臺北市三百二十三戶、基隆市二百十七戶、其他郡部四千四百十七戶、救恤人員臺北市一千人、基隆市二千人、其他郡部一萬一千百人であつた

新竹の被害地は三十日視察

內海知事から狀況聽取

總督歸北の途中新竹州下の被害狀況について新竹驛より內海知事が同行して來北し車中に於て概括的狀況を聽取したが三十日午前九時發自動車にて新竹に到り同州下の被害狀況視察を爲す筈である

州下の被害

教育課の調べ

臺北州教育課の調査による州下の

勅使街道の鋪裝に 「變なオデキ」

市役所で原因研究

臺北市御成町から圓山動物園下までの所謂勅使街道の鋪裝道路が日石の手により完成されてからまだ一ケ月を經過したに過ぎず、出來立ての道路は恰も處女の肌の如く美しくタクシーやバスでも滑る程硬さを感ぜぬのでこの道路を褒めぬ人はなかつたが

不思議 やこの道路に暴風雨直後、所々に饅頭狀にふくれ上つたオデキが出た、こんな例は全くないので市當局はこの原因を調査し今後の經過をみることとし一方日石でも其の經過をみることとし一方日石の信用問題となり臺北市との間に契約中の鋪裝道路工事費四十萬圓にも匹敵して來るので大に狼狽し、市當局より前に勅使街道及び三線道路の鋪裝道路を視察し種々

研究を 重ねてゐる、これについて市役所の永野土木課長は語る

水の洗禮を受けた勅使街道と三線道路の鋪裝道路が暴風雨後ところどころ饅頭のやうにふくれ、其上を自動車が通ると其次の路面がふくれ上るといふ奇觀を呈しました、市でも何故にこんな珍現象を呈するに至つたのか調査中であり、目下の所でも勿論調査してゐます、これは要するに鋪裝道路の下には砂利があり、空氣の入つてゐる

間隙が ある譯であるが道路面に久しく浸水したために壓力が加はり鋪裝道路下の空氣はこの壓力のために上に出るべく努め、そのために諸方がふくれたといふ譯だがもウすつかり元通りになりました、然しこのふくれた後に水が入つたものとすれば大に研究せねばならぬ問題だと思ひます、ふくれ上つた路面はワレナービッチであるために

自動車 が通つても別段割れても居りませんが、目下に修繕させる積りです

臺北市では目下上京中の日石の道路課長其他技術者を招きこれが原因について說明を聽取する模樣である

總督の水害地視察

（上）萬華河岸ゴンドラ附近にて遭難當時の狀況を聽取してゐるところ（下）臺北橋上から淡水河畔一帶を展望しながら水害狀況並水害の對策を講じてゐる總督

學生生活の指導に溫い手

東京帝大學生課で新學期から實施

【東京二十九日發本社特電】最近一點張の大學生活はともすれば若い學徒を思想的に破滅の淵に追ひ込み、或は失望のドン底に顚落せしむる等あたら一生を誤らせることがあつてはならぬと今度東京帝大學生課では全國各大學專門學校に率先して新設、同年の大學教育に「學生の生活指導」の溫かい觸手を延ばして無味乾燥を極める大學と學生との間に親和味を增加し學生を善導しやうと目下竹內學生課長の手で九月の新學期より實施すべく具體方法を立案中であるが大體のプランとして

一、學生生活法の指導、下宿屋アパートで不當に誤られぬ法から學生らしい禮儀作法、即ち先生を訪ねる時の作法、友人との接待方法、結婚式に臨む時の心得等日常學生としての禮儀作法の常識又はカフェー・バアに遊ぶ時の注意、就職の方法、學費の不足した時の補充方法

一、學生衛生の指導合理的な勉強法、神經衰弱の治療法、頭腦を明快にする方法、花柳病は如何にして豫防するか其他登山、スキー、水泳等運動方法の指導等が說明されてゐる右に關し竹內課長は語る

學生に經濟な學生生活を整理し安心して勉強出來るやうに指導し健實の人間を養成することが今度の試みで個々學生の意思を尊重し自治的に計畫を進めて行く考へで學生も非常に期待して喜んでゐるやうです

伯國の革命戰

まだ盛んに續行中

【リオ・デ・ジャネイロ二十七日發電通】ブラジル政府軍は叛軍が二十七日遂に撤退したコブテロ市附近を占據したため之と交戰激戰を演じ死傷者多數を出した後遂に撤退した

【リオ・デ・ジャネイロ二十七日發電通】ブラジル政府のコンミュニケに依れば叛軍は政府軍と目下マンチクエリア地方に於て激烈な交戰を重ねてゐるが叛徒は講和交涉開始を希望し居り解決近いと

第二十五驅逐隊 けふ出港

【基隆電話】馬公警備府第二十五驅逐隊は入港が一日遲れた爲出港を延期してゐたが二十九日午後五時多數見送りを受けて目的地に向ひ出港した

逝ける柵瀨氏

臺灣に關係深い人

二十八日の夕鎌倉で臺灣に關係深い柵瀨軍之佐氏が遂に逝去した、故人は病氣であり其の將來が案じられてゐたが遂に起てなくなつた

同氏は 中央大學を卒業して操觚界に打て出て新聞記者として地方に或は中央に活躍してゐたが志を立てて實業界に入り遂に臺灣において其の地盤を築き上げ明治四十三年臺灣商工銀行が創立された當時は山下秀實頭取の下で取締役として同行創立者の一人となつた、臺灣貯蓄銀行の方は現在まで取締役であつた。臺[illegible]紙、土地建物會社、帝國製糖等には深い關係を持つてゐた、其の後實業界から政界へ轉向し衆議院議員には六回も當選し去る大正十四年商工政務

次官に 就任した、前々回の總選擧に不幸落選したのが非常に力を落してゐたらしく歸來健康が勝れず靜かに病を養つてゐたものである、更に臺灣とは離れ難く關係深く未だ六十四歲くらゐの年齡でもあり其の死は惜まれてゐる

（寫眞は柵瀨軍之佐氏）

カトリック中央黨と國粹社會黨提携？

豫想さるる閣員の顏觸れ

【ベルリン二十七日發聯合】久しきに亙り折衝を重ねた國粹社會黨とカトリック中央黨の提携成立愈々近しとの風評次第に濃厚となつた、これが實現せばナチスの天下到來、議會解散の理由を排除し議會政治持續さるべく、閣員豫想は首相ヒトラー、外務ブリューニング（中央黨）國防相兼內務シュライヘル將軍の呼聲が高い

高松商業 あす一中と對戰

何れも負けられぬ試合

二十八日本島の各種代表校臺北工業を四A對零で輕く討ち取つた高松商業野球團は二十九日午後一時半から圓山球場で臺北商業と會戰したが三十日には同じく圓山球場で一昨年から臺北一中と再び相見えることになつてゐる、過日の第一回戰には五A對三で負つて高商の雪辱戰となつてゐるがこの一戰に高商勝敗せんか、ファンはもつて[illegible]を聞ふべく北一中は又この大敗をストレートに喫つて地方代表權を失つた憾價をはらすと同時に今こそ實力上の臺灣代表者たりと全島に示威せんとして雪辱を期し、鋭意を待ち構へてゐる、實力は正に伯仲して豫斷はゆるされない、全島を制覇する高商果して北一中をも倒すか、全臺商業と自校の名譽を賭ふ臺北一中果して再び高商を軍門に降すか、三十日の一戰こそ見逃し難き快戰である

蒙古の陸軍大將と稱し 數十萬圓の詐欺

元酒屋の小僧、前代未聞の大事件

【東京二十八日發電通】和歌山縣海草郡山口村中筋日延三六〇日下東京市芝區東坂町三五元酒屋の小僧前田常藏（三〇）は滿蒙國家の利權を目指して軍部當局と如何にも密接なる關係ある如く荒木陸相、參謀本部の要路の位置にある人々と密接の意を含ませ有力なる權力を有する華族を見事に惑はし籠絡し自分は蒙古の參謀陸軍大將であると稱し常に大將の正服を著して橫行し各方面より數十萬圓の詐欺を働いた前代未聞の大事件が發覺し遂にこの程當局に檢擧されたが、人は前記の如く陸相、參謀本部要路を籠絡し昨年十二月十四日頃特務機關の歸朝に際し[illegible]で大宴會を催し蒙古陸軍大將の資格をもつて荒木陸相、島津公、菊池男、頭山翁等を招待し盛宴を張り[illegible]等は總て詐欺の手段に利用したものである

平溪線は徒歩連絡

交通杜絕中のため二十四日以來不通となつた平溪線三貂嶺十分寮間は二十八日午前より徒歩連絡開始、全線開通は三十日早朝よりの見込

沖繩の帆船 行方不明

【基隆電話】沖繩縣中頭郡[illegible]カナンタ所有帆船（乘組四名）は風雨の爲遭難行方不明となつた旨基隆署へ入電があつたので目下搜査中

第六朝日丸 愈よ絕望

葬儀その他を打合せ

【基隆電話】民船出帆中方[illegible]

[illegible]の行方不明となつた基隆水產會社所有手繰網漁船第六朝日丸については同社では漸く絕望と認め二十八日から部隊を組んで搜索を行つた、船長の言ふ所によれば基隆出港後一緒であつたが風雨と激浪の爲基隆入港を斷念した結果遂に行方不明となつたもので既に沈沒したであらうとの事である

基隆の被害 三萬餘圓

【基隆電話】基隆市役所に於ては目下暴風雨の災害の調査を行ひつつあるが大體被害三萬餘圓と見られその內緊急を要するものは二萬四、五千圓と豫想してゐる、右復舊費は[illegible]による[illegible]は出來ぬ爲[illegible]では市區改正工事費の借[illegible]

三浦女史の放送 時間變更

二十九日午後七時よりの東京中繼により三浦環女史の獨唱放送は午後七時三十分よりと變更されたなほ七時よりは喜多流謠曲が中繼される

人れが出來るものとすればその方の費用を振向けてはとの意見を持つてゐる、右については二十九日午後二時から打合會が開催され萬事解決される事になるが基隆神社の被害は應急修理出來ない程の狀態なのでその際奉遷協議し豫定に係る改築工事に着手し、先づ寄附既收額を以つて之にあて未收は工事着手後改めて募集するのが最上の策ではないかと云はれてゐる

鯨をたべて 二百餘名中毒

和歌山縣下

【大阪二十九日發本社特電】紀州熊野の捕鯨の名所和歌山縣東牟婁郡太地町青古君太郎所有捕鯨船は二十六日朝熊野沖で長さ二間位の鯨の頭を捕獲し、同日正午太地港に水揚げ魚問屋坂野直吉氏が落札して和歌ノ浦及び新宮に輸送し大部分は太地町で販賣したが之を食べた同町西青谷勇五三郎外二百名の町民は二十八日午後に至り嘔吐下痢をはじめ發熱三十八度から四十度に昇るものもあり、何れも頗る激烈な嘔吐と苦痛を訴へる騷ぎに新宮署では縣衛生課と打合せの上附近町村からも醫師の應援を賴み手當に努めてゐる

村上訓導の葬儀

卅一日執行

二十四日臺北地方の暴風雨に際し淡水行列車で不慮の災厄に遭ひ無慘な死を遂げた淡水郡老梅公學校下角分教場訓導故村上三郎氏は今回淡水郡當局等小學校訓導に[illegible]官したが葬儀は三十一日午後二時老梅公學校下角分教場で[illegible]を以つて營むと

三橋町墓地內の 樹木も被害

臺北市三橋町墓地內の樹木は先日の暴風雨のため倒れたり折れたりしたものが多く市衛生課では差當り市で植ゑたものを目下手入れ中であるが個人所有の樹木も相當被害があるので北臨墓地關係者は至急植代るなり手入れするなりしてほしいと言つてゐる

基隆香川縣人會に 高松商業團出席

高松商業野球團は二十九日對北商戰を終へて後、基隆市香川縣人會の歡迎會に出席すべく直ちに基隆に赴いた

東京文理大教授 要塞地帶を撮影

軍部で處置をとる

【馬公特電二十九日發】先般澎湖視察のため來澎各方面の視察をなしつつあつた東京文理科大學教授內田寬一氏は澎湖島要塞地帶を正規の手續をなさず寫眞撮影をした事を軍部で知り憲兵隊、警察の活動となり嚴重たる處置を執る模樣である

モルヒネを 密注射

關係者處罰さる

臺北市太平町四丁目六四番地[illegible]は情夫の[illegible]と共謀して大稻埕の本島人[illegible]にモルヒネを注射し[illegible]

△市內永樂町五の三三八陳延輝（四二）△市內太平町四の四七張家財（五一）△支那人住所不定陳金（三三）△市內永樂町二の九三郭炎福（三〇）△市內下奎府町四の六二支那人林妹官（四二）△住所不定周文和（三六）△市內永樂町四の九三陳紅英（二八）△市內太平町四の一七呂次郎（五二）

花蓮港の 陸上競技大會

【花蓮港電話】第三回陸上競技大會は二十八日午前八時から花岡山グラウンドに於て開催、國旗揭揚、國歌合唱、入場式に次いで國旗揭揚、來賓祝辭、昨年の優勝旗返還、今井會長の開會の辭あり競技に入り[illegible]ものはなかつたが各選手とも花蓮港新記錄を出し頗る盛會であつた

新竹の 盆踊り

初めてで大賑ひ

【新竹電話】新竹カッフェー組合の盆踊りは二十八日から開催され五十餘名は自動車にて町廻りをなし、午後七時から公會堂廣場に設けられた櫓を中心に二十餘名の女給連が華やかな揃ひの浴衣に赤い灯の下に賑々しく小唄のふしも面白く踊り廻つたが新竹としては珍らしい企ての催しとて珍らしい人出を見市中は頗る賑やかであつた

陳情團解散

貝山氏ら先發歸臺

臺灣米上京陳情團一行は既報の如く二十七日夜東京米穀取引所幹部との座談會を最後として東京にて一應解散し、それ以後は各自別々の行動をとつて居るが、臺北州選出の貝山、新竹州選出の馮兩委員丈けが先きに歸途についたとの通電が廿九日正米市場組合へ入つた大阪筋電が正米市場組合へ入つた昨夜臺灣協會、陳情團關係者多數見送り、萬歲裡に香と東京を立つた、今日大阪取引所幹部と會見臺灣米運動の應援を求め陸路瀨戶內通り明日の船へ乘る

▲山の如き慰問品中に二水兵が救助した海軍に比し日前數間の所にある數名を見殺しとは（呆れた生）▲測候所より列車の運行可能の風速を旋へておく責任なきや（非被害者）▲故野澤氏一家にキャンプ生を代表し弔意を表す（キャンプ生）▲松山火力の苦力も自製が足らんぞ（[illegible]代表）▲[illegible]な自動車（臺北驛前）▲大正町の出水と天下水と現在流れてゐるドブ川と如何なる因果關係あるや市尹にお尋ねする（不安被害者）▲今回の出水で延屋班の[illegible]と深夜の警官に感謝する（町民）▲[illegible]學生徒受驗者學科見本[illegible]（[illegible]）▲[illegible]（[illegible]）▲[illegible]（新生）▲兵庫縣加古郡府町の同氏宛で申込めば誰にでもお送りします（係）

柵瀨軍之佐儀病氣療養中ノ處本日午後六時鎌倉ニ於テ死去致シ候ニ付此段謹告仕候也
追而葬儀ハ八月三十日午前十時鎌倉ニ於テ佛式ヲ以テ相營ミ可申候
昭和七年八月二十八日
鎌倉町小町二九七
妻 柵瀨 キ[illegible]

當銀行取締役柵瀨軍之佐氏八月二十八日午後六時鎌倉ニ於テ逝去致候ニ付此段謹告仕候也
昭和七年八月二十九日
株式會社 臺灣貯蓄銀行

當會社監査役柵瀨軍之佐殿本日午後六時於鎌倉死去被致候ニ付此段謹告候也
昭和七年八月二十八日
臺灣爆竹煙火株式會社

感冒 藥 バンコー
各藥店にあり
●風ならキツト治る

生徒募集 晝間十月一日夜間毎月十日開始
活動寫眞應用自動車解說フイルム（全十五卷）
臺北市榮町三ノ二番地（電話四〇六九番）
規則書申込次第贈呈
公認 東洋自動車講習所

暴風雨御見舞
謝恩デーを九月五日まで日延べ致しました
●景品抽籤方法は從前の通り致します
電話一六九八番
カフェー 南國

國產 毛生液 ベ[illegible]

商況（廿九日）

米況

正米市況（前場）

▲一期蓬萊米 當 六、五五 五七 中 六、八三 八四 先 六、九四 九三

▲一期在來米 當 五八 中 八五

▲各銘柄不申

一期蓬萊米は休日前前場下押の氣配は六圓五十九錢を起點に[illegible]先分限は六圓九四錢と高く止め六十一圓、一期九錢は各限不申に前場を終る

大阪期米

節	當	中	先
一節	二三、〇〇	二二、九九	二三、六九
二節	二三、〇〇	二三、二〇	二三、五六
三節	二三、〇〇	二三、〇四	二三、六九
四節	二三、一一	二三、一九	二三、八〇

株式

大阪短期

▲前場
鐘紡 新 [illegible]
同 新 [illegible]
東新 [illegible]
大阪商船 [illegible]
商船 [illegible]
日鑛 [illegible]
日本 [illegible]
日產 [illegible]
淺野 [illegible]
日石 [illegible]

東京長期

東京短期

長京期米

神戶期米

天氣概況（廿九日）

本島は何れも雨他は淡晴となつて居ります

▲天氣豫報（三十日）
一區（北部）南東の和風晴れ
二區（東部）南の和風雲後晴
三區（西部）東の和風曇り
（南部）南東の和風晴れ
臺北地方 南東の和風晴れ

（三十日）
淡水 滿潮 前 一〇・九 後 一一・五 干潮 前 四・三 後 六・〇
基隆 滿潮 前 [illegible] 後 [illegible] 干潮 前 [illegible] 後 [illegible]

各地氣溫（二十八日）

地名	最高	最低
恆春	三〇・一	二四・四
臺東	三〇・八	二三・八
高雄	三二・〇	二四・一
臺南	三一・三	二四・〇
澎湖	三二・五	二四・〇
花蓮港	三〇・九	二四・八
臺中	三二・七	二三・四
基隆	三一・六	二二・七
那覇	二八・六	二二・五
長崎	三二・五	二三・二
臺北	三二・八	二二・五

殘月譜（266）

志乃田廸司作　清水三重三畫

刀（九）

何處も、此處も、伝之助に取つては懐かしい思ひ出の土地であつた。

が、伝之助は、笠を深々と冠つて通り過ぎねばならなかつた。

それに、今は、河合岩兵衛に一味の新三郎を脱川させなければならない役務がある。

河合氏では何も御存知あるまい。籠居して居れば、そのうちには殿の御命もでるかも知れぬ、時勢が時勢なのだから、と待つて居られるかも知れない。右十郎どのにした所が、八木澤新大にこそ、新木六郎右衛門の名を以て欺いたが、しかし、又、その新木が、いつかは殿に取つて、本當の道へ蹈み戻してくれるかも知れない。と、考へて居られるかも知れない。

「その、御身となさるる新木六郎右衛門は、いや、大殿伝之助は、もはや御遠島のものでは御座らぬ。見付かれば処せられる脱藩者ぢや！」

謀頼されて居る事が判つて居るだけに、伝之助は、気が焦るのであつた。

「新、いそげ！」

「へい」

さう云つて、三子ケ瀬を急かせては、伝之助は、若へながら遅れてしまふのである。

「何だい、こりや」

三子ケ瀬、腹の中で舌打して、と訝しんで居るのだ。

「こんな土地に昔の情婦でも住んでるのか知ら？」

すぐと、三子ケ瀬、そつちの方へ気を廻してしまふのだ。

「旦那さま」

「何だい、新」

「何だい、新ぢやありませんぜ、え、わたしに、急げ、急げつて、仰しやつては、自分は悠々—」

「おい、新、皮肉を申すな」

伝之助、苦笑した。

「旦那さま、悠々はいりませんぜ」

「何だい？悠々とは！」

「えへへ」

「おかしな笑い方をするのう、何を笑ふのぢや」

「えへ、旦那さま」

「何だと云ふに？」

「えへ、會ひたいで御座いませう」

「會ひたい、誰に？」

「それ〳〵、此の邊で、御存知の方に」

と云はれて、伝之助は、はつと心を打たれた。

さうだ、此の近所の寺だ、あの須田数人どのの住んで居られた所が—。

永年、手にかけた、吉次が脱走して、江戸へ來て以來、どんな苦しみをして居られることであらうか。

會つて、しみじみ、お詫を申述べなくてはならないのだ、懐かしい、あの實直な人に—。

伝之助は、もはや、自分の身が脱藩封中内へ入れば、うまく行けばよし、先づ、九分通りは死を決して行かねばならないのであることを悟つて居た。

「それ！御案内なさいまし、一寸寄つて行きたくなつたでせう」

「うむ」

「どうです、三子ヶ瀬の眼は高いでせう、ええ、隠居はいりませんとも」

「然らば、案く頼むが、一寸」

「一寸、へへ、旦那でも恥かしいんですかい」

脳ひして三子ヶ瀬は喜んで居る。

新大東京風景（五）

松波治郎

此の板橋　區へ、練馬は大根が光彩を放つて居るのである。さて、此處の村嬢が、天晴れ、東京のレディで御座いと洋装するやうになつたら、気恥かしくて大根の土は落せまい。だが、もつと近代的説景で云ふなら、此處こそ、都會人の田村趣味を満喫させる、若くば子寶通りの田園都市候補への、けだし、處女地であらう。東京と云ふ處は田舎より田舎だのう—とお上りさんが云やすまいか、

北處十年間ばかりは

足立區と　は千住町、西新井町、江北村、舎人村、梅島町、綾瀬町、東淵江村、花畑村、淵江村、伊興村の總稱である。變するに荒川沿岸の地味肥沃な水田の多い土地である。荒川の堤も、東京名所の一つとなることに東京市民たる光榮を感じやう。向島區は、岩淵町、隅田町、寺島町、隅近は八つ切寒村で、すつかり名をあげてしまつた土地である。工場地帯イデオロギッシュな「無産防衛者」街である。此處に

夜の華は　咲く、玉の井だ、キングポイントである。嘗て私が逆作「人間亂舞」のヒントを得た土地だ。おはぐろ溝と安白粉と上海踊りの「花電車」と稱する家の者の居るエロ供給地だ。堀切の櫻も、みめぐり神社も、長命寺も、すつかり砂塵に埋れた。新東京市よ、一つで宜しい。昔の名所を偲ばせて呉れ、小名木川區は亀戸町、大島町、砂町だ。此處だ區名を換へてくれろと云つたのはさうだ「亀戸天神様」がある。これは誠に

新東京と　して有難い一名所の増加だ。が、玉の井と闘ふ私娼窟がある「おいてけ堀」の怪は地下に埋められ大島町の煤煙と泥臭さも東京になる時世でも「亀戸稲荷」は信者が絶えない。葛飾區は、金町、水元村、新宿町、奥戸町、本田町、亀青村、南綾瀬村である。此の區の存在が小菅刑務所で代表されるのは悲しい事だ。あの白灰色のモダーン刑務所の中に檻楼と人生への諦念が渦まいて居ると思へば

モダーン　必ずしも全部が明朗でないことを首肯する。

江戸川區は、小松川町、松江町、葛西村、瑞江村、鹿本村、篠崎村、小岩村である。この區は、まことに存在な區だ。永生きの出来る區だ。江戸川と荒川放水路と、それに東京灣に面した八區の一「小島ケ郷」を持つて居る水郷だ。海苔の產額は年に百萬圓に上ると云ふ。か、消防と自動車が珍らしい漁夫と農夫との區だ。第一、言葉からして

東京辯に　なるにはなか〳〵難かしい、人家を探すに苦勞な土地だ。これで見るよ世界第二の大都會になる惱みも一通りではないと察しられる（終）

昭和壬申薫風帖（追加）

石上三年錄

東京從橋　松阪　浦良

神ごころをこめて仕へる君なればかみもうれしとおぼしめすらむ

□

千早ふる神のこころをこころにて我も君もいとはまし

須磨　神戸　山野　常春

ますらをとおもへる骨も此處ばかりたへぬ思ひにいけるともなし

秋田の舊友諸井北明君永眠

□

月の暑拂ふとて歌友等と携へて十和田湖に遊び舟を浮べて釣を垂れしに如何なれか君のみひとり幸に恵まれしとの消息を聞きて

□

十和田の湖うたへる君が言の葉に神もかまけてちはひましけむ

□

釣つると十和田の湖に舟うけて幸をあがほの君ぞ嬉しぶる

□

舟うけて十和田の湖の幸みつぎ君が得物や希なりけむ

□

心ぞへ嬉しかりけむ十和田の湖の釣のすさびも幸おほくして

□

思ひもかけぬ十和田の湖に舟うけて遊ぶとだにも聞くぞともしき

土井晩翠先生より「湖やらぬみ得をわけて樂しき」と近詠を寄せられければ返しにとて

湖きやらぬ霧もあるといふ湖ぞ心にわけて得ておはすれむ

福岡　大平　得三

いのります私は七月に長女をつれて四國瀬戸内海を遊び八月には長男次男をつれて朝鮮金剛山に參りました　お互に今一いきの辛棒です　御大切に

□

溪流と水ながれ來り木がくりに丹ぬりの寺の見えそめにけり

□

音もなく霧は危巖をひたすなり白雲動くそのそこひに

□

夜のくだち山の氣は冷えそめにけり寝ぞうわるき子に毛布をかくる

童話　秋蟲のなく頃

森田みさを

寶石をバラまいたやうなお星様が、み空に一面まばたいてゐる頃、下界の草むらでは秋蟲が一せいに秋のしらべをかなではじめるのでありまず。夜露にしめつた草をわけながらしづかに、みち子はお庭を散歩してゐました。そしてそこらの小さな蟲達をおどろかせないやうに、お庭の片隅においてある籐椅子に腰を下しました、遥く遥くパクチリと一つ大きくまばたいてゐるお星様をみち子はチーツと見上げるのでした。みち子は何を考へてゐるのでせうか？秋蟲のなく頃―嬉しい時失つたお母様のことを懐年思ひ出さないことはなかつたのであります。呆やりと見上げてゐるうちに、その大きなお星様が、一段と光をましてスル〳〵とお庭へ落ちて來たではありませんか

「みち子さん、天上からあなたのお母様のお使ひとなつて参りました、さあ一緒に参りませう」

「まあ！お母様の」

みち子はおどろきとよろこびのために思はず聲をあげました。下の方で、蟲の音楽が小さく細くひびいてゐます。星のお使は輕くみち子をかかえるとみ空へどん〳〵上つてゆくのでした、やがて下界がみえなくなり、ダイヤモンドがあたり一面にちらばつてゐる星の世界に入りました

「みち子さんよくきました、こちらへおいでなさい」

聞いてゐた星の一つが申しました。それこそ片時も忘れたことのないお母さまの聲です。みち子は急いでその星へ近づかうとしてあせりました。けれどもなか〳〵近よれません。

「みち子さん、夢中に泥りました、お母さんは生きてゐる人とは近づくことができない身の上です、さあよくお母さまをごらんなさい」

キラ〳〵と輝くお星さま！それこそみち子が知つてゐるお母様の瞳です

「お母さん、何故もとのやうな姿になつて下さらないの」

「おなげきでないよ、みち子さん、さあお前も下界へ下りる時です、お母さんは、いつも幺数のお星の中で見つてゐますから、お前がみるときすぐわかりますよ」

「お母さん！」

みち子は泥くらな中をどん〳〵と落ちてゆく氣がしました

秋の蟲が一しきりはげしくなきました。みち子は、ハツト驚いて夢からさめました、はかない一瞬の夢でした、もつと〳〵なかく續けてほしかつた夢でした、みち子の心をなぐさめるかのやうに、鈴蟲やまつ蟲くつわ蟲などが、オーケストラを奏して居ります。はるかのみ空を見上げたみち子はお母様の瞳のやうな一つのお星を見つけて、いつまでもみつめて居るのでした

「みち子、いつまでそんな所にゐるのです」

何時來たのかお父さんがやさしく後に立つて聲をかけました

「お父さん……」

そのあとはむせびなく、みち子の聲が秋の蟲と一緒に、かなしくきこえるのでありました（をはり）

臺日謠

築山、何故無制限、何人も投書し得、宛名は不關係

△何も知らぬに俚謡を作りや出来た文句も笑ひ草　臺北　市川

△思ひ及ばぬあの月様の笑顔浮かした池の面　臺北　非熊

△森の木陰に迷艱の夢を揺や流した蝉時雨　大正町　古泉

△月と水とは添はれぬ仲よそれで浮いたり浮かしたり　臺北　無部

○どこへ行くやら寄ねて見たい旅の後つけて　虎尾　ほてい

（評）下の句によつて僅に求く

白夜の饗宴

○千惠藏映畫秋季巨篇

原作　山上伊太郎

監督　マキノ正博

撮影　石本秀雄

主演　片岡千惠藏

- 彼・平原將之丞…片岡千惠藏
- 彼女　お市…山田五十鈴
- 疑屋敷留守居役…香川良介
- その用人　村木喜十郎…若松文男
- 同　下役　別所三郎助…瀨川路三郎
- 同　瓜生久馬…成松和一
- 疑元藩商人太郎兵衛…山本嘉一
- 御寮人…常盤操子
- 娘　お榮…花井蘭子
- 寮履　仁右衛門…市川小文治
- 下男　可助…光岡龍三郎
- 和尚…林誠之助
- 跡部某…中村紅果
- 大田中齊…山本禮三郎
- 家老納戸錦右衛門…嶋木香一

梗概　想へば此處い、夏川…の旅でした、流れる汗に、土埃にまみれてくだる東海道の街路、××藩の宿ごとに女をみた、小宿りに留つてくる、怖い、而らはしい、と見た街女！―その姿が彼の前に現はれた、惡氣で、遊藩の一かどの伊達平原將、宋酒娘の評は氣な心が「立派な殿御」と眼をおけるに足りた、ところが彼氏に許すれば不圖した出來心、惡戯氣も手傳うて旅なればこそ―

× ×

彼はどこまでも旅先らしい、男心の氣紛れで、なんとなく思ひ寄つて見たが、この男、特前の職業性かムクと頭をもたげる、さうなると女にこおれて堅くなに俯いてゆく男心、日を經て旅路、旅路の[illegible]に何處の者とも確かめず、また出會ふこともあるまいと考へる[illegible]が切々の思慕に變る、それも旅先、その旅の終る所―忘れるともなく、そして消えて去り、秋[illegible]て仰ぐ、寂しくも、かつての日の夏の女が再会する―彼氏は××藩疑屋敷の一介の下役人でした

× ×

彼女は××藩疑元問屋を勤める藩商、疑屋の養女、疑元問屋とは、一藩の年貢生產を押へてこれが金融を圖するもの、いかに封土の大小名の多くが、すでにはやく財政的に破綻して疑元問屋の前に叩頭哀拜する諸侯諸藩であつた

× ×

加ふる無力無能の特權サムライ階級が願額に瀕する封建治下「明日知れぬ生命」の姿となつて、まぐ〳〵しく著から忘れざる商業階級の生活をみせつけの彼、平原將が、秋あたかも前年東北を襲うた飢饉、隣西を脅かして所謂大鹽の天滿焼きとなり、至德派の出兵騒ぎを惹起する所「明日知れぬ生命」の崩かこの混亂の混頭に展開して、而もその中に二世の誕生を祝福するこの姿よ……彼と彼女の手記風に描いて行つたこれは一つの時代の素描なのです（映畫は千惠藏と山田五十鈴）

家庭メモ

水銀の断れた體溫器の直し方

下部の水銀の玉の所を微温湯に入れて水銀を昇らせ切れてゐる所に迄したら湯から出して急に力を入れて振ります。一度でうまくいかない場合には同じ方法を繰返します。湯が熱過ぎると水銀が昇りすぎて破れますから御注意下さい

靴の皮の柔げ方

古靴の皮が硬くなつたのは、急に柔かくするわけにはいきませんが上等のクリームを布につけ、よくこすつて艶を持たせておきふだんはざつとこすればよいのですが、この場合はそれ以上にこすります。そして必ず毎日晩だん〳〵柔かくなります。靴のために一番よくないのは、濕氣です、泥をつけたままおくのと、雨天のぬかる道を歩いて來た時は直ぐに掃除し、かげぼしにしておきます。ぬれたままにしておきますと硬くなりますから怠らず手入れが肝腎です

燐寸の吸殻利用法

お客さんがかへつた後の火鉢の燐寸ぼんを片付ける時は燐寸のすひがらも一々拾ひあつめてブリキの空くわんなどに取つておきませう。それは一つには防火の意味もありますが同時に廢物利用にもなるからです。このすひがらは植物につく害蟲を殺す力がありますそこでたまつたすひがらを必要の時に取り出して石けん水と一緒に煮溶かし、これを油蟲などの居る所にかけるのです。燐寸の灰はまた大變よい肥料ともなりますから、植物の根本にかけても効果があります

公開欄

不採用は理由の如何に拘らず返却不可▲一行十五字以内▲二十行以内▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

ゴンドラ事件と警察

K生

◇毎年一、二度は必ずある暴風雨に命を前未にする人々については私共は何も兎や角云ふものでない。が、今度のゴンドラ事件の如き取締りの任にある警察として今少し何とかやり様はなかつたであらうか、飛報が出た、例年けざまに測候所から出た、例年に徴してザット二百十日前に來たのであらうか。

◇私達はその場合、當に危険だと見られる水上の營業者に對して何故に警察が禁止しなかつたのだらうか、私は疑問だと思ふ。ライオンを初め遊覧船がなかつたので地上のカフエーが營業をして困ないのに、ゴンドラには寄るのと「讀」が異つて困るのである。

◇救助に手落ちがあつたと云ふ人もあるが、そんなことはその場合五十歩百歩である。十數人居たとしてもかかる危急の場合十人が十人共救助出來るものではない、故に私共はその時の能不能を論ずるのは問違ひで、何故に事前にそれに備へて避難するか、若し營業者に避難の意思がなかつたなら警察は人民保護の名に於て強制的にも宣識かせなかつたか、警察の職能に多少共遺憾のあつたことを私共は認めぬ譯には行かぬと思ふ

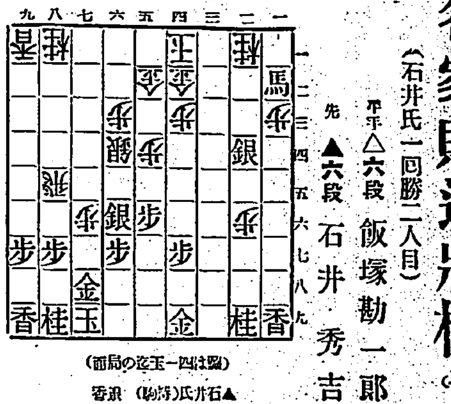
名家敗退將棋（七）

（石井氏一回勝二人目）

平手　△六段　飯塚勘一郎

先　▲六段　石井秀吉

△飯塚氏（持駒）飛角歩歩歩歩歩歩歩



（圖は四一玉迄の局面）

▲石井氏（持駒）銀香

▲八六香△二五飛▲二三馬△三二金▲三七桂△二三金▲二五桂△二四金▲二二飛△三五角▲四六銀△三二銀

▲石井六段曰く　八六香は豫定で敵飛を取めつつ輕く變化を作らないと平穩な運び方では敵玉の堅ろが崩くなつて苦境に陷る

▲飯塚六段曰く　三二金は五一玉と寄る手もあつたがこの金の寄りで却つて玉の堅ろも崩くなりませう

▲石井六段曰く　三七桂は下相手で跳ねたがよろしくなかつた三四馬と直ちに當てるべきであつた

▲飯塚六段曰く　一三金は絶對の受けて實は敵の三七桂は意外で駒得となるだけに面白くなりました

▲石井六段曰く　四六銀は絶對の受けで八八玉と越すと六九銀が何時迄でも殘つて問題になりません

▲飯塚六段曰く　三二銀は場合により一三金と引く味が出來る二九飛と打つては二一飛成で面倒である

▲大崎八段講評　先手二三馬は前に三二金と寄られ玉の堅ろが崩くなつてよろしくない直ちに三四馬と飛に當てるか本筋であつた次に三七桂は欠張り三四馬と捨すべきで此處で駒損をしたは先を取る意味でも甚だ疑問に過ぎる

臺日案內

書籍　特價部　新本　臺北市本町二　叶見書店　文化教育會

藥種商　エナモル

醫院　Ｘ光線新設　內科　小林醫院

增全齒科醫院

寫眞　寫眞機材料店

カメラ交換賣買歡迎

樂器　山葉オルガン

高等理髪　時代の理髪キング

料理屋　五錢めし　一力

雜件　特許商標　弁理士　岸喜鑑

麻雀拾圓　文藝堂

和田はメガネ專門

內地みやげには文旦

活動寫眞は　高畠商會

臺南市內　營業案內

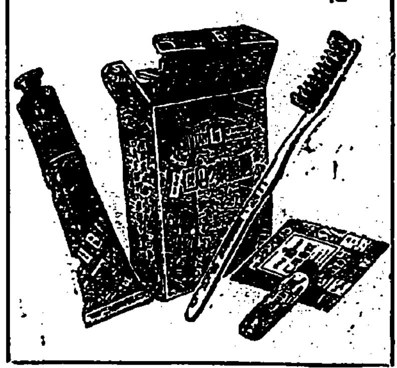
頭痛にパラヂウム

新發見（頭痛ぬり藥）

ひやけ、しもやけ、切傷、腫物、火傷、痔疾等の大妙藥　ゆりくすり　本舖　大阪市東區五町三丁目　中井馬鑑製

何れも御愛煙家の爲に　全國到る處のこばた店專賣

にに円香錠　にに円石鹸　にに円ハミガキ　にに円齒ブラシ



七日根治確實

ヴヰタミンB含量第一位　脚氣と腎臟　新藥　コルンエキス　コルンエキス　島居商店　白井松新藥部

ヴヰタミンB劑新用途　營養强心劑として　スポーツマンの如き過度の勞役者に運動直後本品を服せしむれば其疲勞を最も迅速に恢復せしめ得べし

效果百％　喘息新藥　小林藥學實驗所

十円位の資本から　誰でも出來る　新職業　家庭工業的新職業としての粉末石鹸の製造　中野米國理學士　奥村千藏　不況時の職業として最適　好期は今！！　說明書進呈　中央化學工業研究所

熊谷良正氏著　臺灣語

明石元二郎

現代青年讀本

官衙公署人事錄

法

三十萬分一臺灣全圖　臺灣總督府編纂

新舊對照管轄便覽　臺灣總督府編纂

二萬分一臺灣地圖　臺灣總督府編纂

最新陸地測量部發行地圖　二萬五千分一臺灣地形圖　北部ヨリ高雄附近迄

臺北州聯合同風會編纂　本島に於ける美事善行

臺灣總督府編纂　五萬分一蕃地地形圖　總數六十八枚

谷河梅人譯編　閑却されたる臺灣

早川少佐遺著　飛行隊見學

發行所　臺北市榮町　臺灣日日新報社

漢文 臺灣日日新報

匪賊襲擊奉天
商埠地便衣隊出現
日滿軍警與之應戰

二十九日奉天聯合電。今曉零時半。兵匪在奉天南北地區及市內相呼應。一齊襲擊奉天。北方自北大營無電臺附近襲擊。現與錦安遊擊隊激戰中。一方自南方渾河堡來與二隊。南迫至附屬地堤防。我軍警死力防備。又商埠地北市場。便衣隊一隊出現。與滿洲國警察隊激戰中。奉天市大混亂。

我軍自東西壓迫敵匪
向渾河堡一齊攻擊

二十九日奉天電。襲奉天城賊團一千名。分爲三隊。一隊於二十八日午後十一時半。從南方大南邊門。一隊於二十九日午前零時半。從東方兵工廠方面。一隊於同一時。自北方東北無電臺方面。突擊前進。與我軍裝甲自動車隊。砲車隊激戰數時間。奉天城一時被賊包圍三方。刻々危險。日本人居住滿鐵附屬地動搖。日滿軍於午前三時。擊退敵匪。我○○部隊。更從東西夾擊。占據渾河西方地區。從東方追擊賊團。我○隊砲車隊。與滿洲國軍呼應。壓迫敵匪於渾河。向賊之根據渾河堡。一齊攻擊之。

敵彈落奉天飛行場
器材格納庫發火

二十九日奉天電。本月初旬襲擊奉天之賊團。今回乘關東軍首腦部更迭之機。二十八日午後十一時半。從渾河方面。襲奉天附屬地。奉天城。飛行場三方面盛行發砲。與滿洲國公安隊。在奉天城大南邊門外激戰。午前二時。附屬地大南邊門附近兵團被擊退。歸於平靜。兵工廠附近。銃聲不絕。賊彈落下於我飛行場器材格納庫而起火災。烈燄沖空。飛行機無損害。

渾河公安隊長林子章
被學良買收來襲
飛行場附近發火

二十九日奉天電。渾河公安隊長林子章。今回被學良買收。任命爲第三軍長。率部下匪賊約三百名來襲。襲擊我飛行場奉天兵工廠。飛行場附近起火災。

特務曹長
尾關氏戰死

二十九日奉天電。兵工廠警備特務曹長尾關清（福島縣人）戰死。

鈴木軍曹
右肩受銃創

二十九日奉天聯合電。城內憲兵隊鈴木軍曹。討伐奉天兵匪。右肩負貫通銃創。中國人運轉手亦重傷。

我憲兵
二名負傷

二十九日奉天電。奉天城大南門方面。戰況視察中之奉天憲兵隊鈴木軍曹川島上等兵。中賊彈負傷。

正米市場
定期總會

正米市場組合第十二回定時總會。二十七日午後時十分。開于市場立會場。組合員三十四名。全部出席。督府商工課長代理作田技師。磯技師、小川技手、川口屬、臺北州富田勸業課長、高石屬等臨席。吳理事長開會詞。次入議事。昭和六年度業務報告及收支決算報告件。原案可決。評議員森田氏。有喚起一二三注意。作田商工課長代理訓示。約近四時散會。續于午後六時半。在江山樓開宴。

天然瓦斯
創立礎商

阪本素魯哉、松岡高雄氏等。所計畫利用新竹州錦水。及臺南新營牛內崎天然瓦斯。要設臺灣天然瓦斯株式會社。經由發起人奔走中。于二十九日夜。會集臺中市內重要者三十餘名于市民館。就創立所關。種々礎商。該會社資本金百萬圓。而本社置于臺中市。在北部第一次事業。自錦水通到在鐵管。至新竹市及同地帝糖工場等。供給瓦斯。而南部以牛內崎瓦斯。供給近距離某製糖工場。然後第二次事業。乃及于臺中市及臺北市等云。

二百十日
厄日觀測
或能得無事

來九月一日。値二百十日厄日。本島農村關係者。深慮或再發生颱風。茲據二十九日午前五時。臺北測候所。發表天氣圖如左。七百六十六粍高氣壓。在奧羽東方洋上。颱風在朝鮮北部。漸衰至七百五十二粍。向東北東徐行。奧羽北海道曇天。內地關東以西放晴。朝鮮中南部同上。北部降雨。滿洲陰霾。沖繩列島。石垣島曇天。其他快晴。本島則恒春降雨。其他淡陰。由上觀之。颱風漸衰。向東北東徐向。本年可得無事通過云。

觀政府政友會形勢
欲提出妥協案

二十九日東京電。農村負債整理案。組合法及米穀法改正案。政府與政友會對峙。閣內一部作製妥協案。因事前漏泄。遂至停頓。政府政友會双方。今若運謀妥協。却使空氣惡化。此一兩日。暫爲放置。觀望形勢。乃作後途。更容易解決。此意見有力。妥協案似將於一兩日後形勢如何。乃欲提出。到底若知妥協困難。政府欲將負債整理組合法案米穀需給法案二案爲犧牲。時局匡救所關豫算。努力於重要法案之通過也。

農相賭職欲維持率勢米價
政府不能屈服政友案
聽其自然難免衝突

二十九日東京電。對於農村負債整理。米穀法改正二案。政府與政友會全在對立狀態。政友會被黨內一部強硬派牽制。對兩案態度。漸次惡化。前途頗堪憂慮。現成問題之農村負債整理法案。及米穀法改正二案。與時局匡救所關豫算案及各法律案。政府考慮其輕重。參酌各案審議經過後。乃決定對於政友會案之政府態度。而關於農村負債整理。農林省會計。需使中央金庫。發行富簽類似證券之案。附議於閣議。因閣僚間強硬反對論續出。實行不可能。政友會依然反對。對於率勢米價廢止。後藤農相強硬反對。二十八日之米穀法委員會並豫算總會。闡明率勢米價廢止不同意之事。爲擁護率勢米價。決意賭職而代鬪爭。政府亦不能無視後藤農相意見。而承服政友案。如放任之。難免正面衝突。從大局考察之。欲講妥協之途。爲最善努力如猶不能打開局面。形勢惡化時。政府亦考慮善處法也。

海相、官長等在院內
協議政府政友會衝突時
政府之態度

二十九日東京電。二十八日午後十時半。岡田海相柴田官長堀切法制長官參集院內。就率勢米價削除中央金庫問題。協議政府政友會若正面衝突時之政府態度也。

中川總督
廿九早歸北

中川總督。初巡視東部臺灣。澎湖等。中止日月潭阿里山視察。於二十八夜。發高雄驛。二十九早六時十九分。歸抵臺北云。

總督視察澎湖後
搭軍艦北上向高雄

中川總督一行。照所豫定於二十八日午前七時半。發松島記念館。到澎湖醫院。聽院長報告概況。終往要塞司令部。訪問鈴木司令官。歡談數刻。旋發同地。經觀音亭。久留米碑。參拜陸軍墓地。在是地。聽木間廳長。說明墓地由來其他。總督於要塞司令部米田主計提出之參拜者名簿。署名後。記念植樹。然後往馬公街水道源地。聽三浦街長。就馬公水道。種種說明。並言現在水力不足。求督府援助。木間廳長。亦詳爲說明。午前十時半。抵要港部。總督入司令官公室。接見各幕僚及所轄長。終聽水戶參謀長。說明關于要港部施設其他之詳細狀況。視察要港部內。十一時。發要港部。歸途順往文石書院。由廳長向導。登樓上。眺望該地風景。旋到馬公街水道貯水場最後入澎湖廳。觀覽物品陳列場。總督一行。在是地。由本社寫眞班撮影。立發澎湖廳。受鈴木要塞司令官。其他各幹部多數官民送行。由第一棧橋。向軍艦北上。山內司令官。水戶參謀長以下幕僚。送至北上。十一時三十分。照豫定向高雄出發。木間廳長。送至高雄云。

新莊郡下
暴風雨害
達五萬餘圓

新莊郡新莊街管內。去二十四日。所遭之暴風雨害。爲二十餘年來。所稀見者。當街管內被害。全潰家屋有五十八戶。半潰有七十七戶。大破有七十二戶。被損有五百十二戶。受浸水者。則有八百十五戶。而大窠坑。義學。楓樹腳。十八份坑。貴子坑等處。道路流失。其延長有三百六十間。此外之崩潰者。如大窠坑。楓樹腳。貴子坑等處。共有一百六十九間。而被埋沒者。有大窠坑。楓樹腳。十八份坑等處。亦有六十五間之長。又田被水浸者。共一千七百三十五甲。此外田被流失者。在大窠坑。及楓樹腳兩處。約有十一甲。而被埋沒者。亦有十二甲。至於堤防之流失者。如大窠坑。楓樹腳。十八份坑。啞口坑等處。計之亦有四百四十間。若將以上綜計其被害之額。約達五萬二千餘圓。際此不景氣深刻之秋。可謂慘上加慘云。

北第一高女
改築校舍

臺北第一高等女學校校舍改築。該經費十七萬圓。擬近日中着手工事。去二十六日。中瀨知事。聽取藤田教育及玉手地方兩課長。詳細說明內容云。

鳳山丸客金密輸出
被稅關員發見究問
今後擬嚴重警戒

基隆稅關。曾聞有密輸出金于對岸。即由當局警戒中。去二十八日。出港鳳山丸乘客中。有婦女子十數名。其携帶品中。被稅關檢查員。發見有粗製金腕環。及金鍊等諸裝身具甚多。疑其爲密輸出。將其人及旅具等。帶歸本署究問。若觀現在金價。在對岸一匁。得售十三圓。比本島市價。多有三圓。若持百匁以往。可得利三百圓。是犯禁制。又今回密輸出之十數人。每人之金皆有一貫內外。均作婦人裝身具。藉瞞過稅關官吏之目。其他有多密輸出金塊。於是稅關及警察等。各努力檢擧中云。

總督乘巡洋艦
巡覽各部
嘆操練敏速

中川總督。巡視澎湖完了。二十八日午前十一時。受廳下官民多數熱誠送行。由馬公第二棧橋。搭乘汽艇。移乘巡洋艦北上。有要港部司令山內少將。外知名之士多數送行。是日天候晴朗。洋上靜穩。南方鎭護之巨艦。堂々壓制黑潮。以十六浬速力。向高雄。艦上總督。於後部甲板。與草鹿艦長。鈴木海軍武官等快談。午餐後。與友部警務局長。楠山秘書官。野口知事。深川遞信部長。木間廳長等。由草鹿艦長向導。參觀艦內。頗出質問。約一時間。巡覽完了。午後二時起。參觀壯烈之戰鬪操練。及溺死救護演習。僅十二分間。對落海之模擬溺死者。下短艇救出。對此敏捷之海上行動。興味殊深。五時十分上陸。在埠頭。受官民出迎。往壽山館。搭同夜八時二十六分高雄驛發列車。就途歸北。

稅關造船
監視用百噸
附競爭入札

督府稅關。鑑於本島沿岸之良港。對岸貿易帆船。勿論在港灣所在地。以外沿岸。皆得積水。且入港不定時期。在本島十一處監視署。亦雖十分監視。於是前年度末。決定造一監視船。巡視沿岸。取締密輸入。該經費七萬圓。計上于本年豫算。目由關係者設計中。按九月中。在稅關。使川崎、三菱、播磨、浦賀、基隆、彥島諸會社競爭入札。然後着手建造。此船擇帝西

臺灣神社月祭

二十八日午前八時。臺灣神社擧月次祭。同四十分終了。是日參拜者。阿部軍司令官。後藤高等法院長。竹內同檢察官長。堀田交通局總長。清水軍參謀長。中瀨州知事。安武文教局長。田端專賣局長。福元內務部長。西澤臺北市尹。仁禮第一聯隊長。沼川憲兵隊長。江藤社會課長。宇賀四郎。小宮元之助。水越幸一諸氏。凡二十二名參拜。

政友目的不在倒閣
使議會後內閣引退

二十九日東京電。率勢米價廢止爲中心之米穀法改正案。及農家負債整理案。多日紛糾。議會情勢。政府與政友會對立。一方政府若贊成率勢米價廢止。容政友會主張。則後藤農相辭職。恐致內閣崩壞。危機立至。然政友會果欲使內閣倒潰。而貫徹此兩案乎。即非常時救濟爲目的之議會。政友會以自我主張。致內閣倒潰。時局匡救案不成立。則政友會當負重責。此乃政友並農村議員所不忍處。結局政友會不以倒閣爲目的。使政府知其威力。俟議會終了後。內閣引退也。

無腔笛

▲本島人任官。多州勸業課長。於是有疑該課長爲闘職者。其實不然。殊如不景氣深刻之今日。勸業課長經綸之如何。影響於地方產業。及商工業者。重而且大。顧內地人之勸業課長。依從來之例。槪任期不長。容易得見更迭。及至轉。反足本島人之長於通譯者。適在任久。故事情極其熟悉。近如內海新竹之同州五個年計畫案。李勸業課長。亦極力謀有以助成之。李氏來自高雄。承劉水產課長之後。對於州下之防風防沙造林。十分努力。克擧佳績。李氏嘗云。救地方民之困弊。最有效者。莫如副業普及。深望同州有力人士。出爲籌設一完全帽蓆販賣會社。椨合人聞而首肯之也。

▲蓬萊米移入制限反對明成

流屍假埋葬

去二十五日上午七時。在新竹郡紅毛庄後湖坡子頭海岸。由洋面流到一本島人男子屍骸。年齡可三十前後。因住所氏名不詳。暫由庄當局。爲之假收埋云。

感電危險
幸高壓線斷

高雄市鹽埕町四丁目黃瞭。年二十七。去二十五日午後四時頃。在市內苓雅寮多木肥料工場作業中。失愼觸高壓線感電。一時陷于危險狀態。幸電線與亞鉛線接觸。發熱燒斷高壓線。得無生命之憂云。

慶安宮中元第二日
牲豚一千開費約八萬圓
鐵道部亦添煙火餘興

既報。其基隆慶安宮。中元普施。其第一日放河燈。三井海陸石炭部人夫之龍燈一排。燈數千盞。長二百米突。即六百餘尺。主普當局。嘉其熱誠。賞與金牌一面。以表謝意。然警察當局。因其過長。道路曲處。有礙交通。自明年起。不許有超過二百五十尺者。一排之長若二百五十尺以內則無妨。一般宜豫早留意。第二日。即去二十七日夜普施。主普張廖簡姓三姓犧牲豚。約一千頭。陳列於媽祖宮港運河兩岸。及公園正面。大道路兩邊。就中最大者。係鋼殼港張樹福氏。所提供者一隻。六百餘斤。主普當局。賞與金牌一面。以獎賞之。主普壇之電燈千餘盞。公園一帶。化成白晝。壇前所陳列祭品。又其豐富。往觀者數萬人。主普以外三大柱。主會在福德。林振盛軒下。主壇在草店尾。謝裕記行前。主醮在新店廣福醫院前。爐主則陳列於慶安宮廟庭。就中主壇祭品最豐。係謝裕記行所辦理。緣金以外。不足數百圓。由柱首謝氏負擔支出。當夜天氣半晴陰。爲初秋新凉。全市人山人海。擁擠不開。警官及寶双爽兩青年團。皆出整理交通。並警戒搶奪祭品之不軌者。其警戒頗嚴。故本年皆不被搶。又鐵道部。爲添餘興。入夜於公益社港。燃放煙火。並於海中。燃彩化仕掛煙火。（即火獅火毬）。此費用六百圓。係鐵道部負擔。海陸熱鬧非常。直至十一時始散。本年雖日不景氣。市內及郡下張廖簡姓之開費。當在八萬圓之譜云。

枕頭箱被竊
金環紛失一對

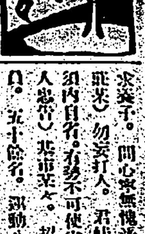
蘇澳庄大南澳字浪速。徐長之妻。徐彭氏阿谷。年二十六。去十九日夜。到附近劉志文家。觀道士戲。同夜十時頃返宅。床頭之枕頭箱。竟不翼飛去。內藏金腕環一對兩餘。價格値九十餘圓。及現金二圓餘。翌早。該枕頭箱。始被人發見在附近甘蔗園中。去二十五日夜。浪速派出所巡查濱之上。遂拘其情夫。同地人林由。到南澳分室訊問。林由最近與該婦常暗中往來。故被嫌疑濃厚。聞該婦多外遇。事件殊混雜云。

購買銃器
募集八千圓
內臺人爲發起

在鄉軍人臺南分會。蒐計畫購買新兩銃器百八十挺。格納庫其他施設。按八千圓。爲同隊警備用。該經費擬募集。目今對臺南州。提出寄附募集願。一面得市內內臺人約五十名賛成。爲發起人。以市內爲區域。按亙長期間募集。而市內今林商店主。今林源三郎氏。聞知先聲明。寄附三百圓。其他尙有多數寄附。似得舉豫期以上佳績云。

土城外藤寮坑村店
盜難後重遭嚇取
惡漢裝束若探炭夫模樣
胸插一刀手亦執刀一柄

海山郡土城庄延寮坑字外藤寮坑。雜貨商鄭創語。月二十四日夜。被盜潛入。竊去現金三十餘圓。以後每夜。與母妻輪流看守。至本月十二日午前三時半頃。創語之母。李氏凝。聞有異樣之聲。即出房口。見一怪漢。約二十七八。裝束若探炭夫模樣。胸前插一刀。手亦執銳刀一柄。趨近之。欲強要三十金。時創語適醒。聞聲馳至。云我店中。前番被竊。現家中空々如也。故不能應命。怪漢聞之怒曰。若不支出。看吾刀能殺汝。創語恐懼異常。即將其妻所藏之五錢白銅貨二圓一錢。及二錢銅貨八圓五厘。及支那銅貨共六十錢。合計十圓六十錢。全部提出。該怪漢又云。外有同伴三人。要索敗島煙四個。麥酒一矸。創語亦如數給與。怪漢臨去。復恐喝以汝若報官。決來殺汝全家。隨向四米頭方面逃去。創語慮後患。急將店舖修理堅固。至二十六日完竣。翌日方敢對郡提出脅迫告訴。現嚴查中云。



多子餓死父。對有錢擇偶人如何。（基隆頭人）豈兒即己兒。不知作何說。若論完婚一事。係出於神聖。何暇之有。而王某既受婚約。隣位讓渡。乃吸使情婦。始則盜押價項。揚則謂求奏子。問心寧無愧乎。（頭圍罪米）勿妄打人。君妹祝三夫。須內自省。有勢不可使盡也。（友人忠告）某市某々。招集某會員。五十餘名。發動公職候補。敢請立下契約。目的達時。對於每人。給以報酬金百圓如何。如是則會員方肯爲君出力也。（從利川人不可）詩騙二字。果然發解。且欠忠厚。改易他題何如。（第三者怨嗟）

寄客席女將
死屍發見
傭人屍亦浮上

既報二十四日之大暴風雨。昂魯拉（寄客席）大破。失蹤之女將杉木茂子。年五十之溺死體。至二十八日午前七時頃。始于新莊郡和尙洲水湳淡水河左岸。發見浮屍渡船場下。又于是日午前七時半。市內濱町淡水河第三水門。同使用人之七星郡北投庄嘎嘮黃兩福。年十四之溺死體亦浮上。兩人各于死後經四晝夜。故死屍腐爛。是日經係官勘驗後。各交與遺族收埋。

三貂十分寮
線路復元

既報瑞芳平溪線。被暴風雨決潰。後經鐵道當局。極力補修。月二十七日朝。三貂嶺十分寮間。始得復元。然十分寮炭脚寮間。目下尙徒步連絡。不日中全線路。能得全通云。

小女誤坐湯桶
全身破皮

蘇澳庄大南澳字浪速。張金水四女秀鳳。年四。去二十六日午後六時四十分。到隣家謝滿河理髮店游戲。誤坐殺雞湯桶。致全身爛熟破皮。謝滿河之妻見之。急抱往附近藤崎醫院治療。生命危篤云。

湖口練兵場
實彈射擊

臺北山砲兵大隊。來二日行軍至中壢街一泊。翌三日再至湖口練兵場一宿。自四日至十六日之間。在演兵場實施野營演習。並實彈射擊。但夜以繼日于實施期間中。將由練兵場周圍。禁牧牛併通行。

上京

米移制限倡同盟。反對堂々上帝京。[illegible]成功非所計。爲民請命盡吾誠。

同盟會上京委員一人。黃純青君來信。言一行十二人。十九夜安抵東京。二十日訪問拓務省。殖產局長。二十一日晤理事。二十二日農相。陳情臺米無制限之要云云。及黃君以外並寄到所作之詩錄左。

上京道上口占

農村負債豈無因。沿道農家瓦屋新。欲救農疲無別術。去華就實自圖存。

前作表示堅決之意。所謂盡人事以聽天者。後作指點去華就實。自力更生之途。臺灣農村。則多茅屋。其矮小破陋。幾於不勝風雨者。與豚柵鷄柵。相去幾何。更[illegible]有十分同情之餘地也。

瑞芳

暴風雨害

至二十六日。判明如左。▲侯硐煤氏。所包辦後宮炭鑛所之五坑炭坑。及五坑炭場。俱沒水二丈左右。塊炭千二百噸。粉炭千五百噸被流失。以外瑞東線路。基隆專用鐵線橋工寮。石炭運搬車數十輛全部流失。總損害約達二萬餘圓。

被害復舊

暴風雨破潰之平溪線（十分寮三貂嶺間）及瑞芳金瓜石間之輕便鐵。俱至二十六日朝。全部復舊。其他四腳亭間渡船。于二十四夜。被洪水流失。迄今交通杜絕。

食料價漲

瑞芳諸商人。自風颱後。將所有日用品。及食料。全部起

双溪同窓

双溪公學校同窓會（第二十四回）。去二十八日午前十時起。在同校記念講堂開會。會由會長開會辭。有會務及收支決算報告。夜有活動寫眞。在該校々庭公開云。

餞木村氏

瑞芳小學校木村訓導。者番爲親老。決定辭職歸國。即于訂來三十日內渡。該校保護者會。訂二十九日開送別會云。

列車觸人

于去二十三日午前十一時頃。蘇澳發百十六號之列車。駛入瑞芳構內。再赴基隆時。有汐止街字汐止三〇七石炭實行商人。欲往瑞芳府炭場買炭。被該列車觸倒。皆於人事不省之重傷云。

再試運轉

既報瑞芳基隆間。汽動車實地運轉一事。因暴風雨。致預定全部變更。經鐵道部當局。更于二十七日二十八日兩日間。再舉實地試運轉。每日瑞芳基隆三貂嶺間發著各四回云。

臺南

水利會議

臺南州當局主催之州下水利會議。定二十九。三十兩日朝八時起。開於臺南州署會議室。經登前報。是日磋商事項二。一、耕地分布調查所關。二、自七月三十一日至八月三日豪雨被害狀況調查。又研究事項三。一、水稻作用水配給調節所關。二、各監視所別雨量用水量及灌漑面積對照表作製。三、盜水防止及管束所關。

農家養豚

南部地方農家飼養豚。昔時多尙桃園種。然自黑岡種。經當局獎勵移入後。以發育與繁殖之速。深爲農家所歡迎。是以桃園種。逐漸減少。近又有所謂美國種之白洋區會種豚之試飼。因經過成績之佳。農家又多乘覆種而畜新種。日前有臺南市田町人周金生。向內地運到一大批。將爲試養。並向農村宣傳云。

嚴禁投網

臺南市運河兩提防岸。中俱以砂石築者。然最近有投網者。往々毀其構造。居中捕取魚蝦等類。然市當局以此認爲有害公物。故嚴取締。自今後。如有被發見者。即擬送交警署嚴重處治云。

課長視察

去二十六晚。來南。泊於碑前東屋旅館之府土木課長木原氏。越二十七早。由森市尹。及荒池。萬山州市兩土木課長之案內。一行視察三崁店。及新化水源地。曾文溪治水工事現場。竹子區。安平。鹽豆內。明糖

本社工場等[illegible]云。

開同鄉會

臺南市在住肥後人。去由阿曾町奧氏。信和理事櫻井氏組織之肥後人會。經已組成立。以去二十八晚七時。假市公會堂洋間。開催第一回創立總會云。

高雄

北上巡艦

中川總督一行。乘巡洋艦北上。於二十八日午後五時頃。到高雄港。該艦自二十九日起三日間。每日午前九時起至午後四時止。給一般民衆拜觀。

寄贈操典

高雄市出身之現滿洲國奉天關東軍無線電信所。步兵上等兵高橋利男氏。年二十二。此次以步兵操典九冊。並書信一封。寄贈於高雄青年訓練所。並錄其信內要旨如左。聞高雄市者番開設青年訓練所。想爲此內外多事之秋。就茲成自身鍛錬。以成健全青年。顧自滿洲事變以來。受國民的後援及同情。余甚感激。爲報萬分之一。別送友愛室書店發行之操典。對青訓實施上。若有多少貢獻。幸何如也云々。

會事

▲萬華龍山寺總田忍元師。西來王爺來九月四日聖誕。萬華新報社。例擧祭典。現會員聯參加。本年値東華王乘甲。會場在新富町派出所前新道路。定午後二時一齊致祭。至七時半閉祝會宴。會費金二圓。因期所本年可望盛況云。

▲臺中市錦町。橘町。寶町所管內。保正甲長會議。去二十五日午後二時起。開於保甲聯合會議所。由錦町。寶井保區委。傳達左記注意事項。一、家畜（水牛豚雞）飼育要衞生之件。一、關于誠陸祭典宜注意衞生之件。一、獎行保仔脚整理外二件云。

▲北港郡漁業信用組合。定來三十日午前九時起。假北港街役場會議室。開總會云。

人事

▲北港郡庶務課長島津榮作氏。去二十五日勇退。後任爲臺南州衞生課[illegible]部山田辰雄氏云。

▲員林街新開業醫師謝[illegible]如氏。及其令夫人洪秀枝兩醫師。去二十七日午後五時。招待員林官民百餘名。在公會堂。盛開披露會云。

▲屏東郡九塊庄盧仁壽氏。大男榮源君。名古屋醫科大學生。者番暑假回里。將與同庄助役陳德鎭氏。長女卜擇吉日成婚。近將携手東渡。再就學云。

▲高雄市林裕盛氏。本月上旬上京。觀察商況。日昨歸來。

▲今回嘉義郡庶務課長吳谷川榮氏。轉州地方課長。同郡警察課長大澤治郎氏。轉北門郡庶務課長。而森林主事上迫強二氏。各于二十九日午前十時二十分。搭嘉義驛發列車赴任。

▲臺北市永樂町振甡商行陳時春氏。三男清潭君。定聘同市新富町蔡欽富氏。次女阿秀爲室。訂來九月四日迎娶。

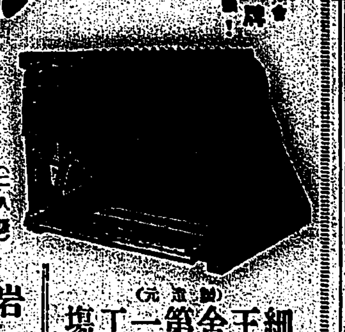
漢文 臺日案內

小兒科 內科 花柳科 大安醫院 臺北市太平町三丁目二八二五

臺灣日日新報
[illegible]

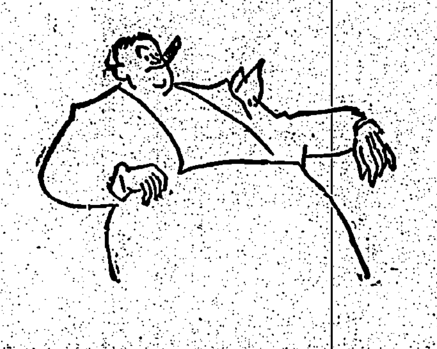
臺灣各州
臺北帝國大學
總督府農事試驗場
農業部
賜御買上

名譽金牌受領
ミルレル式
親王號
（二八型）
岩倉兒弟商會（元賣發）
細王舍第一工場（元造製）
神奈川縣生田村



下痢・腹痛に
家庭に旅行に
定評の常備藥
ヘルプ
[illegible]

タバコのみの
齒磨スモカ
「手巾と手袋は常に白であって紳士じゃ」
「成…で服装と歯は常に黒いが渋みで…」
定價 十五錢
到る處小賣店にあり



505

森永ミルク
赤ちゃんが丈夫に育ちます

夏の必需品
蟲さされ

蜂、毒蛇、南京蟲、ムカデ、蚊等にも是さへあれば
（説明書進呈）
入壜 五拾錢
小包料 貳拾七錢
京都寺町姉小路
鳩居堂

普及版發賣!!
一世の大政治家「偉人濱口」逝きて一年、いまや國家非常の時に際し故人を憶ふや切なり、未だ本書を讀まざる人ありや、來りて聽け、偉人の名言!!

[illegible]

濱口雄幸遺稿
隨感錄
普及版五十錢

四六判本文二〇〇頁 寫眞一六頁挿入（送料十錢）

◇內容◇
◆序……◆余の生立と政治に志したる素因……◆少年時の回顧……◆政黨政治家となつた理由……◆西鄕十年……◆趣味……◆余と趣味道樂……◆國民生活とは何か!……◆政治は本能寺にあり……◆頭天下上にたます……◆成功の秘訣……◆かたはら謂ふもの二幅對……◆人は心は用心……◆庭前の桜の樹……◆政治家の叙……秋の秋（その一、その二）……◆桂公を憶ふ……◆政府と議會記念說明演說……◆素人の政府觀……◆政府と同答……◆政治の形式と實質……◆議會政治の確立……◆十一月十四日……◆心境の變化……◆別莊談……◆議會の近狀……◆病院より總理官邸に至る……◆病院生活百五十日（その一、その二）……◆無題……◆濱口首相辛難歷……（以上）

◇全國書店にあり。

東京市神田區通神保町
振替東京三一五五五番
大阪市西區阿波座下通
振替大阪八一三〇〇番
三省堂

商工省檢定合格品
外品の根を絶つ最高級品
仁円の体温計
[illegible]

專賣特許
日本一
日本一のヨイかとり
蚊とり線香
一度使ったら忘れられぬと申されます
[illegible]帝國除蟲菊株式會社

滋強飲料
カルピス
夏から秋へ……
健康の二百十日カルピスで越せ!
青紙包・赤紙包の二種あり

主成分
人體骨組織の中堅たるカルシウム。
腸内で不良菌を殺滅する乳酸。
活力を附與するヴイタミン。
筋組織を造る蛋白質。
活動の動力となる糖分の補給。

販賣所 酒店・食料品店・藥店にあり
發賣元 東京國分商店
製造元 カルピス製造株式會社

トウヨウ ダイイチ
花王石鹸

ヨク學ビ
ヨク遊ベ
ナントナク カラダモ
コヽロモ ヒキシマル
カオーデ アラッタ
ユアガリゴヽチ
アキダ! アキダ! アキダ!
ヨシ! ベンキヨウダ

うぶ湯の時から花王石鹸

純粹度九九・四%
正價一個十錢

東京・花王石鹸本舖長瀨商會・大阪

4387

株式會社臺灣[illegible]貸借對照表（資產之部）
[illegible]
昭和七年八月
株式會社[illegible]

[illegible]
昭和七年八月二十九日
[illegible]町二丁目十九番地
顏德修

正五位勳三等 橋瀨軍之佐氏八月二十八日逝去ニ付八月三十日午後四時臺北市若竹町法華寺ニ於テ遙弔式相營ミ候此段謹告候也
昭和七年八月二十九日
發起人
臺灣貯蓄銀行
臺灣土地建物會社
臺灣爆竹煙火株式會社
臺北商工銀行
臺灣商工會
中央大學學員會
岩手縣人會
仙臺同鄕會

東京[illegible]止血力强製藥[illegible]
トロムボーゲン
出血
[illegible]

●他に臣下注射用・内服用[illegible]あり
T18
[illegible]藥局 友吉商店 [illegible]

大樹生儀[illegible]
[illegible]
陳清波

大阪商船[illegible]
[illegible]

近海郵船[illegible]
[illegible]

廣告は繁昌の近道なり

購買入札公告
一、セメント[illegible]
[illegible]
昭和七年八月二十四日
臺南刑務所

星名
[illegible]

ハミール
[illegible]

腸内異常醱酵にダイモール（腹部膨滿）
[illegible]

[illegible]

今宣傳中の
ノーネクタイシャツ
◇白絹ポプリン 一圓卅錢
◇白金巾 八十五錢
送料二枚迄二十錢
着荷致しました至急御註文を願ひます
臺北 臺灣日日新報社
運動用品部
[illegible]

臺北市の治水問題に就て
理想案の實現に邁進を望む

一

去る二十四日の颱風は、臺北州下で[illegible]といふ稀有なものであつただけに、[illegible]

[illegible]

政府と政友會對立
農村負債整理と米穀法改正の二案を中心として

二案は承認し難し
政府の最後的決意
政友側との妥協中止

【東京二十九日發電通】[illegible]

時局匡救豫算其他と問題の二案の輕重考慮
政府が態度を決定するまで

[illegible]

問題の二案はあくまで貫徹に邁進
豫算案は承認に決定
政友會の聯合協議會

【東京二十九日發電通】[illegible]

民政黨の態度決定

【東京二十九日發電通】[illegible]

政黨横暴論も妥協成立もデマ
森顧問から報告

【東京二十九日發電通】[illegible]

貴族院の態度は大體政府を支持
政府が政友に屈服すれば空氣惡化豫想さる

【東京二十九日發電通】[illegible]

政府、政友の對立で海相調停に乘出す
裏面の折衝漸く緊張

【東京二十九日發電通】[illegible]

森恪氏と海相が會見
圓滿解決を希望

【東京二十九日發電通】[illegible]

會期延長につき島田氏首相に質問
明糖事件で津雲氏獨り舞臺
衆議院豫算總會

【東京二十九日發電通】[illegible]

臨時議會の會期三日間延長に決す
御裁可を仰ぎ即日詔書公布

【東京二十九日發電通】[illegible]

詔書

朕九月二日マデ三日間帝國議會會期ノ延長ヲ命ス

御名御璽

昭和七年八月二十九日

各大臣副署

[illegible]

各派は會期再延長を期待

【東京二十九日發電通】[illegible]

アッサリ散會
衆議院本會議（廿九日）

【東京二十九日發電通】[illegible]

質問打切
三十日中に
卅一日に討論

[illegible]

各建議案を一瀉千里可決
衆議院建議委員會

[illegible]

けふの貴族院

[illegible]

砂糖消費税の課税方法改正
委員會通過

[illegible]

東京公替市況

[illegible]

人事

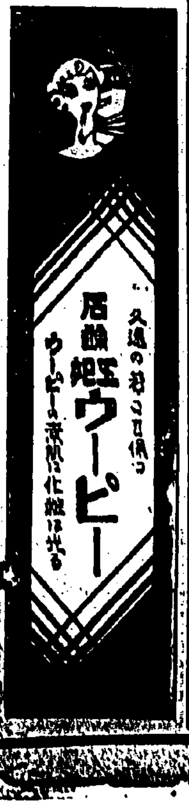
[illegible]

シナチク

[illegible]

大量生産御小賣
遂に好機は到來せり
新開店披露のため！！
七日間　大割引
月賦の便法頗る重寶
モリヤマ[illegible]店

◎秋物入荷御案内
ネール　セール　の新柄荷揃ひ
白生地◇裏絹荷著
お八掛　モスリン着尺　の新品が
澤山到着致しました
臺北市本町一丁目　電話[illegible]
丸山呉服店



[illegible]の名山カメラ行脚（7）

[illegible]

▽天國に結ぶ戀▽

自動車屋の養子と藝妓蘭香の悲戀

互に同情し合つて毒藥心中（臺東）

[illegible]

ここにも悲戀に泣く

酌婦の一人心中

妻子ある男との因果な縁に（斗六）

[illegible]

臺南州街庄協議員 五十一名を増加

街庄長更任と同時に選任

[illegible]

かきおきをして 娼妓家出す

[illegible]

蕃人の革命

臺中州理蕃課で 蕃刀制限令

ソリのある刀は佩用ならぬ

[illegible]

漢字太魯閣峽を 大タロコと改稱

勝地宣傳協會評議員會で

[illegible]

移住準備進む

タウツア、トロツク兩蕃の

[illegible]

長谷川氏赴任

[illegible]

蘭陽三實業團が 存置を陳情

濁水溪假橋撤回命令に

[illegible]

澎湖の本島醫者が 僞診斷書を書く

果然問題化し目下取調中

[illegible]

平山漁場で 改良網使用

[illegible]

津田氏挨拶廻り

[illegible]

江崎帝大教授が 泥棒に見舞はる

豪雨の夜嘉義ホテルにて

[illegible]

闇夜の高雄橋上で 壯漢相搏ち海に墜つ

救援警官の姿をみて向岸に泳ぐ 或ひは重大事犯潜在か

[illegible]

臺南州十ケ年計畫の 道路改修事業

直接砂利を採取し鋪裝す

[illegible]

對岸の排日貨再燃か わが發動機船を沒收

密輸入の汚名を著せ砂糖七萬斤と共に 船長、機關士は送り還さる

【高雄電話】高雄市哨船町二丁目公成商行林成所有の發動機船進南丸四十五馬力は本月二十二日正午砂糖六萬八千斤價格四千餘圓を積載して汕頭に向け高雄を出港したが二十三日夜汕頭沖で支那稅關の見張船に襲はれ、密輸船として船體並びに積載貨物を沒收され船長朴加九機關士中村千五郎以下五名は强制的に本島へ歸還を命ぜられて二十九日朝高雄入港のでりい丸で高雄に歸つたが目下詳細取調中

出征中の兵隊さん 歩兵操典九册を

高雄市青訓所へ寄贈

[illegible]

新竹州下の被害 總額九十三萬圓か

新竹郡が被害最も大

頭前溪治水工事の急叫ばる

[illegible]

花蓮港陸上競技大會

鐵道部ラケ（蕃人）が 五千米で新記錄

十五分四七秒で第一著

[illegible]

農業專修校は 新化糖業科跡に移轉

決定は本年末ごならう

[illegible]

本間廳長歸任

[illegible]

臺南署の假想 非常捜査

[illegible]

廿日屏東公質で 流質品公賣

[illegible]

死を急ぐ人々 溺死・縊死

[illegible]

木原土木課長 臺中市下水工事を視察

[illegible]

臺中の水害被害者四名に 御下賜金傳達

[illegible]

埔里、魚池間の 自動車路 廿九日開通

[illegible]

臺中市少年團 通霄でキャンプ生活

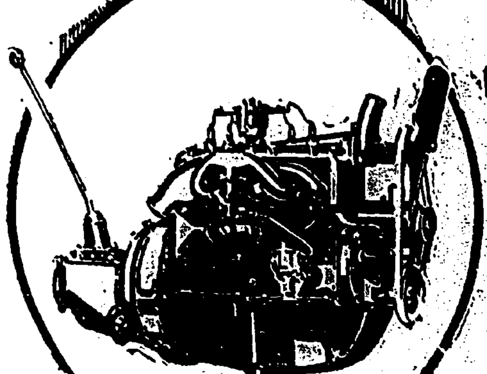
[illegible]

佐野警察課長 蕃界視察

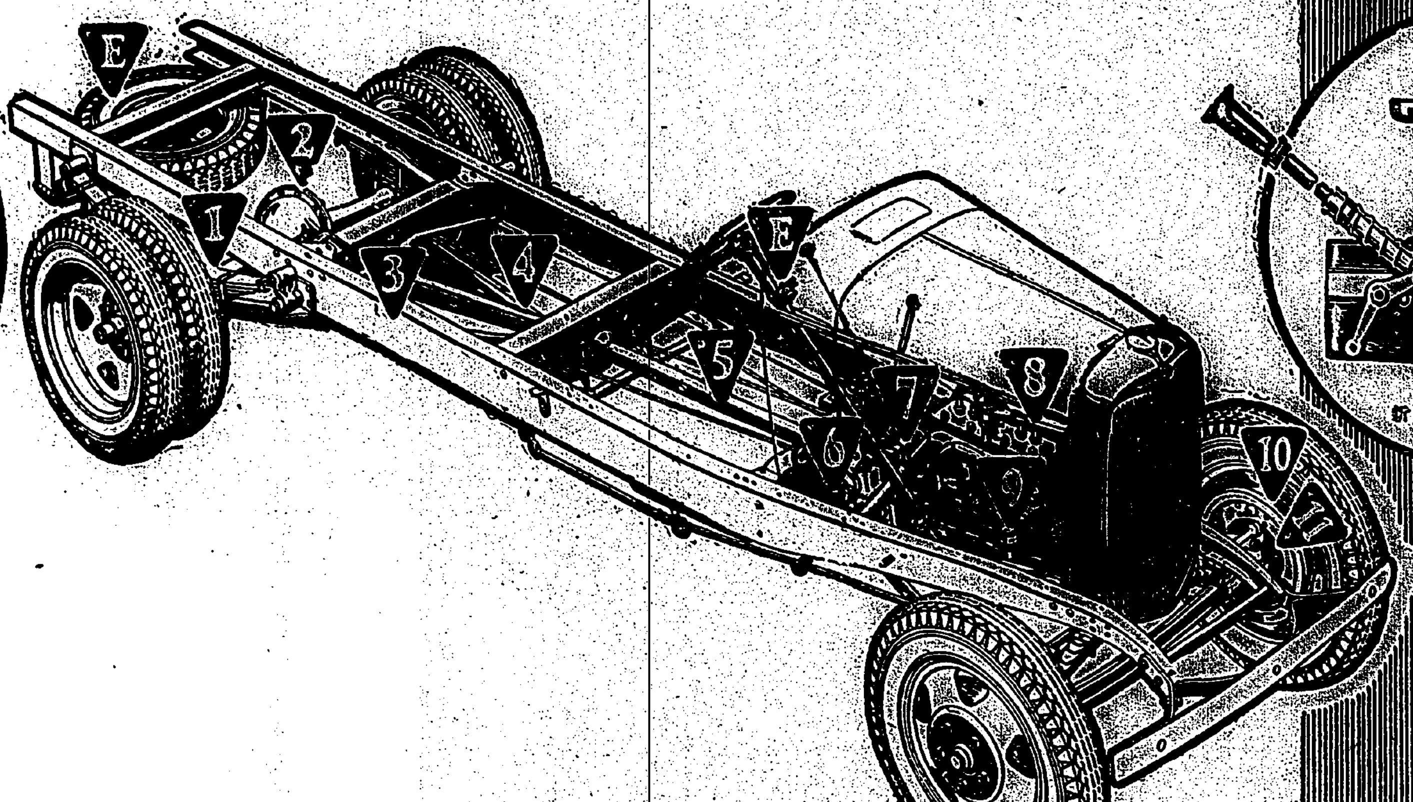
[illegible]

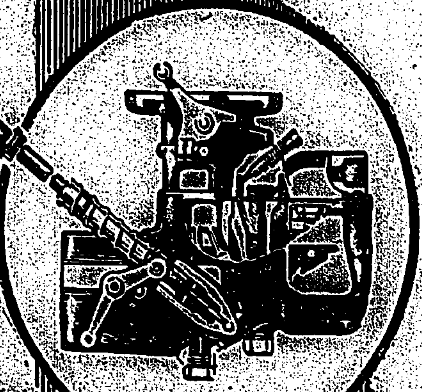
小倉織布 コール天 作業服 [illegible]
大一組商會 メリヤス [illegible]
相撲表 半衿問屋 [illegible]
襟物問屋 [illegible]
シャツ カラー [illegible]
近藤商店 [illegible]
ゴムマリ [illegible]
アタリヤ商店 [illegible]
石塚製作所 [illegible]
半エリ問屋 勝木久商店 [illegible]
十錢均一品 大卸 文具、玩具、化粧品、小間物、金物、荒物 [illegible]
松屋町 [illegible]
運動具 仕入は製造直賣の弊店へ 卸出張所 [illegible]
半えり 井上良商店 [illegible]

新フオードトラツクシヤシー

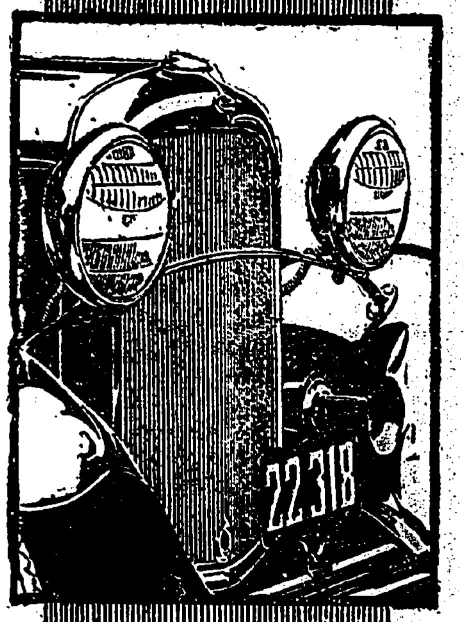


50馬力エンヂン





新カーブレーター



1 新リーヤ　スプリング——長さ五〇吋の半楕圓型で兩端は自由に動くシヤツクルで取附けてあります。スプリングの後端はアクスルの後方二五吋の點でフレームを支持しフレームの捩曲と長いボデーの振揺れとは之により中和されます

2 後車軸——軌間五六吋半——幅廣のボデーを裝架することが出來て走行は樂であります。丈夫なアクスル　ハウジング。特別分厚のスプリング　シート。各ハブ内には荷重のかかる處に二個のベアリングが附けてあります

3 フレーム——幅、長さ及び深さは凡ゆる道路狀態と積荷狀態に適應する車體支持となります

4 ドライブ　シヤフト——二吋管狀鋼鐵——大型鍛造スプライン——ダブル　ローラー　ベアリング

5 カツプリング　シヤフト（トランスミツシヨンとドライブ　シヤフトの中間）——二吋管狀鋼鐵——兩端には大型ユニバーサル——大型鍛造スプライン——二分されたカツプリングは修理の際取外しが樂であります

6 前ラヂヤス　ロツド——ボールとソケツトで分厚のクロス　メンバーに接續して居ます。ボールとソケツトの間にはゴム絶縁が施してあります

7 クラツチ　スローアウト　ベアリング——ヘビーデユーテー　ボール　ベアリング型。フローア　ボードを貫通して居るグリース　カツプで容易に潤滑されます

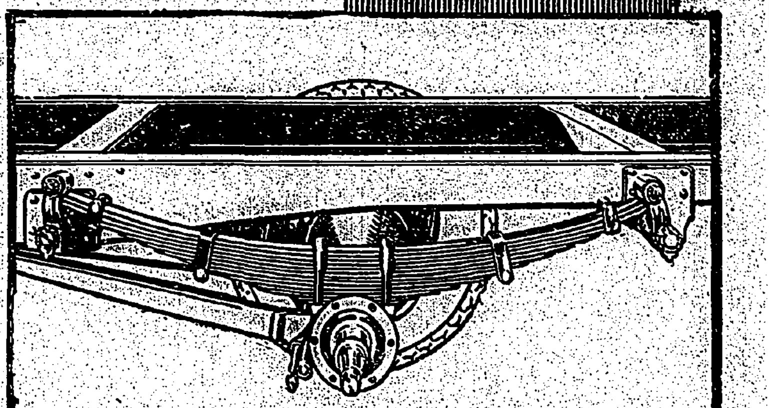
8 五〇馬力エンヂン——頑丈なクランクシヤフト、機械仕上をしたバルブ孔、大型のインテーキ　マニフオールド。面目を一新した力、速力及び經濟

9 燃料装置——機械的に作動するフオード式設計の燃料ポンプにはセヂメント　トラツプとフキルターを綜合して取附けてあります——照明される燃料計は計器板に附けてあります——ターンプレート製ガソリン　タンクは容量一七ガロンで電氣鎔接が施してあります。そして運轉臺の下に在ります

10 ブレーキ　ドラム——鋭合金鑄造。一層頑丈堅牢になつて殆んど故障は起りません

11 前ハブとドラム——　一體構造で前ブレーキの整列を正確に保ちます

E シヤシーの標準装置——シヤシー　フレームと一體になつて居るスペーヤ　ホヰール　キヤリヤー　＊計器板及び電氣装置一式　＊カウル　アツセンブリー　＊ステヤリングとイグニシヨンと同時に鎖すことの出來る錠前　＊小道具一式　＊前フエンダー及びランニングボードは標準装置　＊テーパード　デイスク　スチール　ホヰール五個　＊タイヤー——　前　六、〇〇×二〇　バルーン型、後三二×六-八プライ——高壓



一層頑丈となつた新式スプリング

改良された多くの特徴を具備した

新フオード乘合及びトラツク用シヤシー

新フオード四氣筩**エンヂン**は特に設計された氣化裝置と改良多岐管の作用により**ガソリン**の消費節約を計り且つ一層強力となり、五〇制動馬力を發生します。それ故**フオード**は貨物運搬用としても乘合自動車としても他に比類なき經濟車であります。その機構は堅牢で**フオード**獨特の耐久性に富み他車に比較して長持がします

エンヂンは三ヶ所で**ゴム**片の仲介により**フレーム**へ架裝され、動的にも靜的にも均衡がとれて重くなつた新**クランク　シヤフト**によりどの速力で走行しても作動は非常に靜肅となりました

人目を惹く前方V型**ラヂエーター**、均整のとれた**フード**や**カウル　アツセンブリー**及び最近流行型の**ヘツドランプ**等は新**フオード**の外觀を飾るものであります

ホヰールベース　一三一吋半及び一五七吋

横濱　日本フオード自動車株式會社　子安

經濟解說

佛國は如何にして金を集め得たか（下）

[illegible]

×　×

[illegible]

為替暴落に惠まれるもの――
輸出の黄金時代
歐洲定期船積の如き神戸港始つての活況

[illegible]

殺到

[illegible]

大戰

[illegible]

內地人に

[illegible]

保險會社

[illegible]

佛領印度支那への臺灣茶輸出は有望
支那人仲繼では駄目
關稅も新條約で半減さる

[illegible]

同一步調

[illegible]

――臺灣と生保界――
今後は島人開拓に
それには保險思想の涵養と信用第一主義でゆきたい
日本生命保險臺北支店長　成瀬達氏談

[illegible]

案外容易

[illegible]

各信用組合でも金利引下げの肚
稻江、萬華、龍江組合

[illegible]

稻江信用組合

[illegible]

萬華信用組合

[illegible]

龍江信用組合

[illegible]

南洋方面の珈琲園視察

[illegible]

組合主義による農村更生運動
組合の新設並に睡眠組合員を指導

[illegible]

臺灣電力會社總會
為替差損問題を中心に質問續出議場沸く

[illegible]

監理官

[illegible]

質問を

[illegible]

砂糖界は愈々熱狂

[illegible]

退職賜金
公債買上相場

[illegible]

米國の自動車製作と內國移出高

[illegible]

松木社長の挨拶

[illegible]

海外糖況

[illegible]

フスマ暴騰

[illegible]

基隆高雄兩港移出米累計

[illegible]

商況（廿九日）

米況

正米市場

臺北現物相場

基隆在庫米

高雄在庫米

臺中米價

[illegible]

正米市況

大阪期米

東京期米

神戸期米

各地正米

東京期米當限受渡

堂島前場先限主なる手振

堂島前場先限兩建控除限合

堂島米況前場

堂島米況後場

[illegible]

株式

大阪長期

大阪短期

東京株況前場

[illegible]

公債

東京國債

東京銀行貸出

[illegible]

銀塊

[illegible]

為替

外國為替相場

神戸日米為替

[illegible]

綿況

大阪綿絲

大阪綿花

橫濱生絲商臨時會を開き

大阪現物

大阪清算

[illegible]

穀肥

大連特產

神戸豆粕

神戸市中相場

[illegible]

ラヂオ欄

今日の番組

JFAK 八月三十日（火）

午前の部

【六・〇〇】朝の體操△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）

【六・三〇】夏季特別講座　英作文講座（第十一課）吉見猛

【七・〇〇】夏休み小學生復習時間　三年生の時間　壽小學校山形晃

【七・三〇】五年生の時間　[illegible]小學校中西將周

【八・〇〇】氣象通報（臺北のみ）

【九・三〇】家庭百科問答△再び

午後の部

隕石について

【一〇・一〇】家庭料理獻立△馬鈴薯のパイ△レモン[illegible]

【一一・〇〇】日用品小賣相場發表、臺南市內市場相場發表

【一一・五九】正午の時報△氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表

【〇・一〇】[illegible]ニュース

【〇・二〇】晝間娛樂時間（レコード）（臺北のみ）流行歌一、アリランの唄（長谷川一郎）二、放浪の唄（長谷川一郎）三、ラリルレロ（渋谷のり子）四、戀の二人連（水町昌子、二村定一）五、また逢ふ日まで（米倉俊英）六、今宵の涙（井上ケイ子）七、懐しの街燈八、乙女なりやこそ（渡邊光子）

【〇・二〇】晝間娛樂時間（レコード）（臺南のみ）流行歌一、モダン日本の唄（小林千代子）二、[illegible]時計（徳山璉）三、旅は青空四、青空戀し（市丸）五、街（徳山璉）六、街のささやき（四家文子）七、うれしピッケル八、キャムプの唄（小林千代子）

【一・〇〇】氣象通報（臺南のみ）臺南測候所發表

【一・二〇】運動競技（野球）臺北商業對臺北一中（臺北市圓山野球場より中繼）

ラヂオドラマ（臺北）

【午後八時三十分】

▲大尉の娘

一配役一

陸軍休職大尉森田慎三　青柳章太郎
其娘　露子　折井清
近所の若者　音吉　靜香正義
村長の[illegible]　石丸豐
川本[illegible]　秀川蓉郎
村の[illegible]
その他大勢

休職陸軍大尉森田慎三は妻を失つて娘の露子の教育を樂みに小學校教員として田舎に住んでゐた。[illegible]子供だとばかり思つてゐた娘露子は、いつか村長の息子大澄の[illegible]に[illegible]。[illegible]自然の[illegible]へ[illegible]、露子は東京のある家庭に奉公に出し、子供は露子とした。然し此の子供は失明してしまつた。露子はそれを知らなかつた。露子は子供に逢ひたい一心からおもちやを持つてその村に歸つたが、その夜はからずも村長の家では六郎の結婚式、露子は放火した。父はその放火犯人が誰であるかを知つた。懸命なる父は露子を自刃させ、自分も又職を[illegible]した。

童話　一杯の水が欲しい

【午後六時三十分】—臺北—

砥上種樹

誰でもお金がほしくない人はありますまい、しかしどんなにお金があつても心が立派でなかつたら[illegible]ありません

昔、[illegible]のある田舎に[illegible]がありました、そのお家は、[illegible]といはれ、其お父さんは[illegible]で家をためることばかり考へて、二人の子供の[illegible]なんかに[illegible]りませんでした、[illegible]の[illegible]金さんは[illegible]はすばらしくて欲しいが、心はまるで[illegible]でした、弟の文良さんは[illegible]でしたが、心は[illegible]もしく欲しいのです、この一家は文良さんのほかはみんな一にも金二にも金三にも金といつて金ばかり[illegible]んで心をみがくことなんかちつとも考へてゐなかつたのです、お金は山の様に出來ましたが心の持ちが惡かつたばかりに、一杯の水さへ飲む事が出來ぬ様になつて、後にはたうとう心をみがくことが一番大切だつたといふ事を悟ることが出來ました、その間文良さんの[illegible]や、[illegible]さんの行ひや[illegible]さんの願ひなどがいろ〳〵[illegible]れて面白いお話が出來上ります

英作文講座　第十一課

吉見猛　Aug. 30 1933

Examples:-

$\left.\begin{array}{l}\text{with}\\ \text{in}\\ \text{by}\end{array}\right\}$ + abstract noun—adverb

with ease—easily

with kindness—kindly

with joy—joyfully

in haste—hastily

in pease—peacefully

by good luck—luckily

by $\left\{\begin{array}{l}\text{accident}\\ \text{chance}\end{array}\right\}$—accidentaly

Exercises:-

(1) 勝利者は得々として引揚げた
(2) 其の事實は偶然發見された
(3) 私は安眠が出來た
(4) 彼は辛うじて成功した
(5) 親切に待遇して呉れた事を彼に感謝した
(6) 彼は母が見えると喜んで躍つた
(7) 幸ひ彼は在宅でした
(8) 飛び起きて急いで着物を着た

野球の中繼

【午後一時五十分】（臺北）

臺北商業　對　臺北一中

臺北市圓山野球場より中繼

夏休み小學生復習時間

【午前七時より】（臺北）

三年生の時間　壽小學校　山形晃

五年生の時間　[illegible]小學校　中西將周

晝間娛樂時間（臺北のみ）

【午後零時二十分】

▲流行歌一、アリランの唄

渋谷のり子さんと長谷川一郎氏の二重唱、朝鮮民謡[illegible]佐藤惣之助氏作詞、古賀政男氏作曲

二、放浪の唄

これも朝鮮民謡、作詞作曲は右同様で長谷川一郎氏の獨唱である

いつも日暮れにや降るのに
泣れた我が身は野に山に
月は東に　日は西に
何が戀しうて寢るのやら
（以下略）

三、ラリルレロ

[illegible]氏作のナンセンス・ソングで作曲は佐々紅華氏、獨唱は渋谷のり子さん

わたしはあなたを　アイウエオ
いつでも戀をば　カキクケコ
君はもつれて　ラリルレロ
ああ　ラリリルレレロ
（以下略）

四、戀の二人連

これもナンセンス・ソングで、水町昌子さんと二村定一氏、歌と對話で愉快な二重唱である

五、また逢ふ日まで

米倉俊英氏の獨唱、時雨音羽氏作詞、井田一郎氏の作曲

泣かれなかれて　ゆくすゑは
どこの誰の　[illegible]
紅の色さへ　あせはてて
（以下略）

六、今宵の涙

井上ケイ子さんの獨唱

去りゆく君の　影をただ
[illegible]ちからも　うせはてて
[illegible]めど　あふれでる
今宵の涙　いかにせむ（以下略）

七、懐しの街燈

西岡水朗氏の作詞で[illegible]氏の作曲、獨唱は渡邊光子さん

[illegible]とほく　暮れて去年の
[illegible]ひに　燃ゆる胸の火
[illegible]なつかしき街の灯よ

夏季特別講座

【午前六時三十分】（臺北）

英作文講座

—第十一課—

吉見猛

夜間の部

【六・三〇】子供の時間「一杯の水が欲しい」（童話）砥上種樹

【七・〇〇】圖書館ニュース△國立公園法解説　伊藤武彦氏談、北米國立公園遊記　中村秋季氏談、總督府圖書館山中樵

【七・三〇】漫談劇界內幕ばなし「維新前後の新劇より現代まで」藤井紫伯

【八・〇〇】內地の中繼（臺北のみ）

【八・〇〇】臺灣講古（臺南のみ）「三國誌」第三回　黃緬

【八・三〇】ラヂオ・ドラマ「大尉の娘」[illegible]

【九・三〇】時報、氣象通報（臺北）、放送局ニュース（臺北のみ）、臺南新報ニュース（臺南のみ）公示事項、明日のプログラム發表

漫談（臺北）

【午後七時三十分】

▼劇界內幕ばなし

（維新前後の新劇より現代劇まで）

藤井紫伯

明治維新後の新劇、先代市川團十郎、[illegible]父自由黨から壯士芝居の[illegible]は九代目團十郎、先代菊五郎の[illegible]、新派の天下[illegible]の話、それからそれへと[illegible]、紫伯氏が實際にその社會にあつて見聞した話など次々と話されるものである

八、乙女なりやこそ

これも渡邊光子さんの獨唱で島田芳文氏の作詞、[illegible]氏の作曲

仰ぐ夜空の輝く星は
何んで心をそそるやら
乙女なりやこそ涙で泣く
（以下略）

—臺南のみ—

▲流行歌一、モダン日本の歌

小林千代子さんが合唱付で獨唱する[illegible]氏作曲の氣の利いた歌

二、[illegible]時計

佐伯孝夫氏の作詞で作曲に[illegible]氏、徳山璉氏の獨唱である

三、旅は青空

四、青空戀し

共に賑やかな曲、前者は渡邊光子さん、あとのは市丸さんのうたである

五、街

これは映畫「街」の主題歌、[illegible]氏の作詞に[illegible]氏の作曲、獨唱は徳山璉氏

六、街の囁き

これも映畫「街」の主題歌で獨唱は四家文子さんで作詞は佐伯孝夫氏である

七、うれしピッケル

八、キャムプの唄

山のうた二曲、前のは徳山璉氏と[illegible]氏の二重唱、あとのは小林千代子さんの獨唱である

臺灣講古

【午後八時より】（臺南のみ）

三國誌—第三回—

黃緬

圖書館ニュース

【午後七時より】（臺北）

總督府圖書館長　山中樵

國立公園法解説

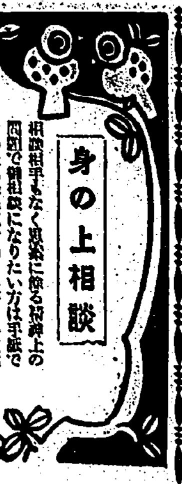
▲伊藤武彦氏談

國立公園制定の先決問題として昨年公布された國立公園法により近く國立公園の指定が行はれんとしてゐるが、本島は[illegible]する大屯風景地の候補問題に關し一般國民の關心を大ならしむる[illegible]で國立公園[illegible]として同法の立案制定に關與した[illegible]伊藤氏に[illegible]して平易通俗な解釋を[illegible]うたもので、本島により始めて國立公園制度を充分に理解し得らるるものである

北米國立公園遊記

中村秋季氏談

本島は[illegible]中村秋季氏が[illegible]した北米大陸の國立公園の風景を紹介すると共に公園の設備、交通、米國國立公園の制度や公園ホテルの[illegible]の問題にも[illegible]之[illegible]



身の上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

校長の罪を摘發したいが如何

私は七ケ月前に[illegible]を失業した者です、失業の原因は[illegible]校長の[illegible]件に關聯してゐます、[illegible]は此の事件を[illegible]長に[illegible]問題となつたのです[illegible]の[illegible]は[illegible]校長に[illegible]のあつた人なので[illegible]するよりも不祥事をコロした方がよいと[illegible]に[illegible]をかくし[illegible]の方へレンズの焦點を向けました、[illegible]しかたがないので、[illegible]にたつてもよいか[illegible]

の窓口にも困るからといふと[illegible]は[illegible]へ出せば一ケ月後には[illegible]をしてやるからと[illegible]四月[illegible]しました、所が四月[illegible]の[illegible]も過ぎたが一向[illegible]できません[illegible]と言つても[illegible]の手紙しかありませんが、[illegible]は[illegible]校長の[illegible]問題を[illegible]つもりですが、如何でせうか、此の事件については[illegible]認めてゐるので決して[illegible]ありません（失業[illegible]）

社會排撃の信念があるなら

あなた[illegible]に關係し[illegible]てゐる以上、失業の不幸も[illegible]だけに已むを得ぬ事と思ひます[illegible]を出させる時には[illegible]を見て[illegible]させるからといふのが口實になつてゐるやうで、みたも其の手に乘つた[illegible]でせう、今になつて校長の[illegible]を[illegible]したところがあなたの[illegible]が[illegible]なる譯ではなく、萬一[illegible]が[illegible]つてでもゐると[illegible]に問はれます、[illegible]社會正義の立場から[illegible]な不正は[illegible]できぬから[illegible]不正を[illegible]する爲めにまで摘發するといふ[illegible]とかあるなら、あなたの[illegible]によつて[illegible]問題にするも[illegible]しいでせう、[illegible]問を[illegible]

臺日歌壇

安成二郎選

臺北　宗田　[illegible]

夜あかりの雨にぬれたる[illegible]の花道のべに白く散りこぼれたり

乙女[illegible]うなじにかざす[illegible]の花涼しく匂ふ夕月夜かな

百合の根のほろにがさをば味ひつ[illegible]啼く夏は來にけり

臺北　內[illegible]　[illegible]

愉かで住すべあれや行くところ木の實ゆたかにみのれりここは

[illegible]くき大木の枝に[illegible]は枝もたはに[illegible]けにけり

臺北　大塚　文[illegible]

大空にかくるくものなきまでに晴れたる日には心うれしき

野良かへり大き水牛の背にのりてのどかに唄ふ[illegible]の子は

文藝時評

新社會派・新心理主義その他（下）

石垣直

◇

「新社會派」の起こる必然性を我々は探し出すことが出來た、然し外來輸入の「新心理主義」について日本の文壇に主張された必然性を認められない、フランスのプルウストが紹介されてゐるから騷がれたく、アイルランドのジヨイスばかりが問題となつたのは何によるか、恐らくジョイスの紹介者伊藤整氏がゐたからであ[illegible]はれる。二人は同じく心理の[illegible]を描くのでも、プルウストは追憶に據り、ジョイスは聯想の系列をのべる手法をとつてゐる

◇

精神現象界そのものを文學の對象とする企ては、[illegible]の一つの方法であつても、文學的使命は持ちえないであらう、文學の手法として[illegible]な點で、それは近代文學の[illegible]に逆行してゐる、其手法が一種のすばらしさを持つてゐるにしてもあくまでそれは「一つの[illegible]」としての文學であるまでだ。たとへば「ユリシーズ」の中の四十[illegible]の句讀點なしに續く獨白に[illegible]く勿れ、わが[illegible]氏の「[illegible]」は[illegible]一[illegible]も行かあらためられてゐないのである、而も[illegible]氏の「心理[illegible]」の[illegible]さをより深く[illegible]したい[illegible]を[illegible]じさせられるのは[illegible]に[illegible]しい[illegible]からのみ起るのではなからう「ユリシーズ」は一つの大きいコスモスを形成してゐるかも知れない、それがたとへば[illegible]氏や川端[illegible]氏の[illegible]と異なる點である、然しそれの手法の持つ[illegible]的[illegible]はドイツの「ノイエンザハリヒカイト」のそれ[illegible]に[illegible]ではない[illegible]である

◇

「新心理主義」の[illegible]に[illegible]して日本の文壇は[illegible]であつて、決してそれを[illegible]付ける方向に[illegible]しなかつた、然し伊[illegible]氏を始め一部[illegible]の[illegible]中には[illegible]を[illegible]してゐる。（完）

プルウストとジョイスとの[illegible]的價値の[illegible]下が問題とされることは少ないやうであるが、文學的[illegible]はひを[illegible]する人はプルウストを[illegible]ぶであらう「ユリシーズ」から一切の[illegible]なものをとり去つた時どれだけの「文學」が[illegible]るか、プルウストの[illegible]がより本格的な作[illegible]を[illegible]にせてゐるやうに[illegible]

◇

う、氏は有力な同人雜誌に依る新進作家である、地位によつてジョイスを流行させ同時に自身も「新心理主義」の紹介をなすことによつて文壇に出た

家庭料理獻立

【午前十時十分より】（臺北）[illegible]

馬鈴薯のパイ

馬鈴薯	五個
豚肉	二十匁
玉子	一個
バター、メリケン粉	少量
鹽、胡椒	少し
レモン[illegible]	
海老	小二十尾
胡瓜	三本
トマト	三個
烏賊	二尾
レモン	五個
砂糖、酒、酢	各少量

家庭百科問答

【午前九時三十分】臺北

▲再び隕石について

[illegible]去る廿五日に放送する[illegible]でありましたのですが、暴風雨の[illegible]で[illegible]所のアンテナ切斷のため放送中止となつたもので[illegible]小山[illegible]氏の講解を[illegible]紹介します

主婦のメモ

天ぷらを揚げる時にはじめにショウガを揚げますと油くさいのがとれます

鼠とかにの爪　カニを食べたらその爪をためておいて、ねずみが出て困る時は少し火にくべると[illegible]ねずみは逃げ出します

カステーラ　を切るには、少し[illegible]にするとくづれますから包丁をあたためて切つて下さい、[illegible]に[illegible]よく切れます

ガラス器を　買入たら先づ冷水に入れ鹽を加へこれを徐々に沸騰し、又徐々に冷してから用ゐると[illegible]丈夫であります

フライパン　の汚れは、[illegible]の[illegible]をつぶして入れ新聞紙で一緒にふいてごらんなさい、汚れはすつかりカラになつてとれます

「榮えゆく道」大盛況

◇[illegible]氏[illegible]の[illegible]は、實に[illegible]すべきもので、今や[illegible]の[illegible]となつてゐる

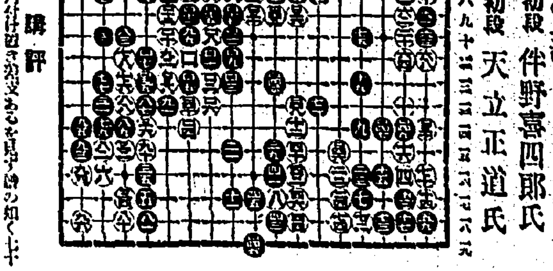
◇[illegible]でも[illegible]でも、凡そ人を使ふ所では大[illegible]に注文する、[illegible]して明るい「明日」の生活と將來への[illegible]な[illegible]ものは[illegible]つて[illegible]である

婦人棋客と臺北有段者對局

【第四局の三】

五目　初段　伴野喜四郎氏

[illegible]　初段　天立正道氏


いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五

鷲頭三段講評

[illegible]

曙光

(89)

生方敏郎作

中野修二畫

女の武器（四）

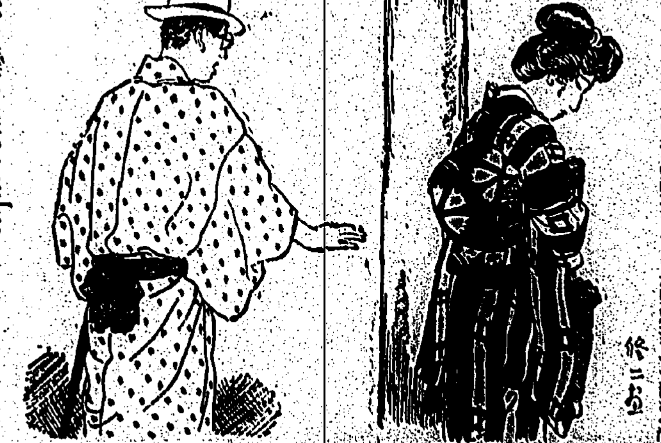
[illegible]は、[illegible]のおだやかならぬ言葉を聞いた時には、腹が立つて（[illegible]出てとけ）とも思つたが、彼女の顔には何事かしさうな決心の色があらはれてみえるので打ち捨てておくのも心配になつた。

「澄江さん、あなたはそんな不穏な事を云つて、出てから何處へ行くつもりです。昨夜だつて、[illegible]がよかつたから助かつたやうなもの、若しあの時巡査が[illegible]を通りかかる所でもなかつたら、何んな結果になつてたか知れやしない。」

すると澄江は[illegible]するやうに、笑つて。

「お巡りさんなんて、[illegible]なおせつかいが好きなのよ。それで[illegible]もないのに、私を[illegible]へ引張つていつたんです。私はただ[illegible]の月を見やうとしてゐただけなのに。」

「あなたの方は、そんな[illegible]でゐても、不良に付けられるつてことだつてあるからね。[illegible]



[illegible]せずにはゐられない。僕にしたところで……」

「不良だか不良でないか、まだ分りもしない中に、お巡りさんが[illegible]めたのだわ。私の方でも、あんな奴等、からかつてやるつもりでゐたくらゐなのに。」

「バカなことをいつて、東京の不良に、それには[illegible]、澄江さんなんかにからかはれてたまるものか……」

「[illegible]なら……」

と、いつて、澄江が口を[illegible]。しかし、森田は[illegible]に「[illegible]」と顔に云つて、[illegible]

[illegible]

ぐ森田に追ひつかれると、歩みをおそくした。そして涙をぽろ〳〵こぼして、それが頰を傳つて行くのを拭ひもせずに歩いた。森田は、それだけでも、その[illegible]人に見られたら、と、[illegible]

「[illegible]が嫌だなら送つてあげるから[illegible]たりなんかしないで……」

「私をあなたに迷惑かけやしませんから、安心して下さい。大丈夫よ。自分のことは、自分で解決しますから……」

「解決するつて、何う解決するつもりです」

「きまつてますわ。最後の解決は自殺よりほか方法はないぢやありませんか。」

そういつて、澄江はワッと聲を立てて、さめ〴〵と泣いた。森田は[illegible]、[illegible]に[illegible]つて、[illegible]があるものか。」と、は心に[illegible]を一寸[illegible]べた

「いや、僕は、[illegible]、これからの[illegible]ひに出されることは[illegible]、[illegible]んなことさへしなかつたら、[illegible]」と、[illegible]しつつも、澄江の[illegible]

「自分が[illegible]解決になるものか？人間はもつと[illegible]。あなたにそれだけの[illegible]があれば、お父さんだつて、無理にあなたを結婚させやうとはしないさ。僕だつて、力がある……」

森田は、言葉をつくして、彼女の無謀な行爲を止めやうとした。

[illegible]なかたち

求職　一件一回[illegible]

貸家　[illegible]

電話　三三六二番[illegible]

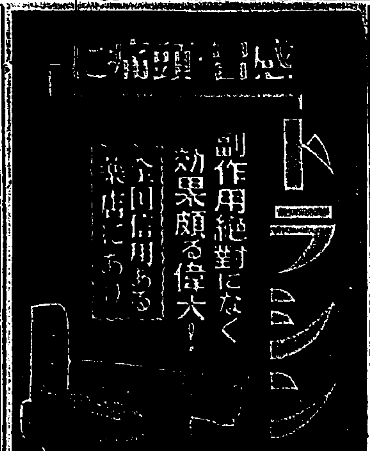
外務員　[illegible]

恩給立替　[illegible]

明治卅年創立
岩倉鐵道學校
學科・土木・機械・電氣・業務科
[illegible]
帝國教育會出版部

補欠募集
東京獸醫學校
[illegible]

月經帶
サンガー
月やく止り人知れず御心配の御婦人方よ！
[illegible]

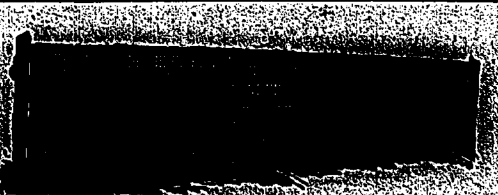


フルゴ
美胃味[illegible]
夏季健胃はフルゴに限る
30錠 50錠
1圓 2圓50
[illegible]製藥株式會社

たむし水むしいんきん
其他皮膚病の良藥
全治水
[illegible]

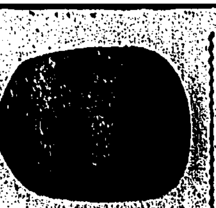
協立煉乳
滋養濃厚
味道純正
[illegible]

臺日の庭球ネット



▲硬球ネット
AAA　二號　三三〇〇
AA　一號　二七〇〇
▲[illegible]ネット
A（甲）一號　一六〇〇
B（乙）一號　一四〇〇
▲軟球ネット
SA（特製）九〇〇
S　同　八〇〇
A　同　七〇〇
No1　同　六〇〇
▲野球ネット
十五尺—六間　一五〇〇
十二尺—四間　一一〇〇
▲バレーネット
一號　五五〇
男子用　一號　五〇〇
女子用　一號　四五〇

臺日の卓球用品



▲TYピンポンボール　一・一〇
▲ピンポンネット　四〇　六〇　八〇
▲ピンポン柱
No1　一・二〇
No3　八〇
▲ピンポンバット
甲　一・〇〇　八〇
特　八〇　六〇
朴　五〇　四〇

臺北市榮町四ノ一
臺灣日日新報社
運動用品部
[illegible]

公學校の三年生が「恐ろしい惡戲」

又大騒ぎ見たさに列車顛覆を企つ

淡水の慘事現場附近で軌道上に小石を列べて

[illegible]恐るべき惡戲が九歳の兒童の手に依つて行はれた[illegible]二十八日午後四時三十分[illegible]時あの大慘事をひき起した場所から百米しか（離れてゐない）にかて軌道上に小石を並べ列車の顛覆を計つたものがあつたが[illegible]二十四日の列車顛覆事件で人々が大騒ぎしたのを面白く思ひ又大騒ぎを見たさに軌道に石を並べたもので全く子供の惡戲と判明した

電力値下を中心に緊張した電力の總會

新井元技師、松木社長に肉薄

二十九日本社樓上に開催

本社樓上で　[illegible]

新井三郎氏　[illegible]

佐藤吉次郎氏　[illegible]

津田毅一氏　は[illegible]

松木社長　は[illegible]

植下田國　[illegible]

難波三郎氏　[illegible]

松木社長　は[illegible]

調べる程凄慘な暴風雨被害

死傷者約百三十名

二十八日の暴風雨における[illegible]

太秦撮影所の爭議また頓挫

二致案を得たが從業員側が不服で

【大阪二十九日發本社特電】京都太秦日活撮影所の爭議は日下部太郎から解決具體案を示して七時間に[illegible]

第二次　[illegible]

折衝を　[illegible]

變改等　は[illegible]

羅文幹部長が聲明を發表

外相の演説に對して

【南京二十九日發聯合】外交部長羅文幹は内田外相の外交演説に關し[illegible]の意味で左の聲明を發した

[illegible]

一、日支關係改善は日本が先づ[illegible]

二、支那は飽まで武力侵迫に抵抗す

三、日本軍の東北武力占領に絶對不同意

四、事件解決には國際規約、不戰條約、九國條約の精神に違背せず、支那主權を損せず、東亞永久の平和を確固にするを必要條件とす

瑞穗丸神戸入港

【神戸特電二十九日發】[illegible]

元臺灣總督安東大將逝く

（寫眞は安東大將）

【東京二十九日發電通】元臺灣總督陸軍大將安東貞美男は二十九日午後四時四十五分逝去した、享年八十、[illegible]

略歷

陸軍大將從二位勳一等功二級　男爵　安東貞美　授旭日桐花大綬章

[illegible]

棚瀨氏遙弔式

[illegible]

最近の汕頭は極く平穏

汕頭領事館警察署長福山氏本社に來訪

[illegible]

成層圏飛行機獨逸で完成

ユンカー製作所の數年間の努力

【デッサウ（ドイツ）二十八日發電通】ユンカー飛行機製作所數年間の努力に依り成層圏飛行機ユー四十九號を完成し[illegible]

職業戰線潛行記（三）

B婦人記者

馬鹿にされて喜んで先生のカフェー通ひ

「親は甘いよ」と學生の氣焰

女給小夜子となつて（3）

[illegible]

9A―2　高松、勝つ

試合は終始緊張をかく

對北商野球戰

[illegible]

（高松）

中投	西村	打數28
二	島海	安打8
遊	岡方	犠打3
捕	矢野	三振2
左	岡井	四死球14
一	山崎	盜塁4
右	松村	殘塁12
三中	井筒	失策2
投三	石川	
三	佐々木	

（北商）

遊	深川	30
中	稻葉	5
左	上村	0
投	森本	3
一	前田	5
三	小山田	3
二	山田	4
右	吉開	4
二	西田	

高松對一中

大白熱戰を豫想さる

けふ圓山で對戰

[illegible]

和蘭女皇誕辰日

八月三十一日は和蘭女皇陛下の誕辰日に相當するので在臺北和蘭領事ヴァンダスター氏は同日午前十一時半より正午までの間に鐵道ホテルに於て正式にリセプションを行ふ由

産金買上値段

一匁八圓四十六錢

【東京二十九日發電通】産金買上値段は二十九日一匁八圓四十六錢と發表された

報告講習會

二十九日から

[illegible]

震災記念日に禁酒運動

總督にも請願

未成年者飲酒禁止に付

[illegible]

米に關する打合會

[illegible]

水稻最高收量競作會授賞式

[illegible]

自轉車鑑札が變ります

引換は九月一日から

市内三ケ所に引換所新設

[illegible]

基隆市各郡　[illegible]

從來の例に　[illegible]

女給にお灸

[illegible]

密輸出を企てた金は二貫目

【基隆電話】既報基隆署により金價騰貴を機會に二十八日基隆出帆の[illegible]丸で對岸へ金の密輸出を企て遂に税關監視に發見逮捕された一味は臺北市入船町三の二二四[illegible]氏玷（二八）外十四名の女連で、金の總額は二貫目にも上つてゐる、目下税關で極力取調べ中であるが州刑事課でも事件を重大視して基隆署と協力別箇に搜査に着手する事となつた、一味十五名は各別に密輸をはかつたものだと稱してゐるが事實は互ひに連絡があるらしく、取調べ後には綜を引く一味も介在してゐるものと睨まれてゐる

夫と口論、基隆川に投身して自殺

【基隆電話】[illegible]

煙草小賣人組合聯合會創立總會

[illegible]

扶桑丸より

[illegible]

本社工場參觀

[illegible]

臺北州下傳染病

[illegible]

▲チフテリヤ　臺北市樺山町七六番地萬年和郎（三）自宅

▲チフテリヤ　臺北市文武町六ノ一番地山内文子（二）自宅

▲チフテリヤ　基隆市福德町一ノ四〇番地黄德祥（二）自宅

大衆文藝映畫社[illegible]特作名篇◆新興キネマ時代劇提供
尾上菊太郎・歌川絹枝『武者小路五郎』小島陽三
荒木忍・水原玲子主演　武人の精華
お雛子夜屋
空閑少佐　一琴糸路・瑠璃子『お、我子よ』主演　情の柵み
畫夜二回
芳乃館

松竹蒲田の大名篇
高田稔・鈴木傳明・及川道子・高峰秀子・伊達里子
野に叫ぶもの
前篇　十一巻　堂々上映
パラマウント・ピープ・ダニエルス主演
女シーク
新世界館

漢文臺灣日日新報

政友會如固執自說 則內閣應總辭職

政府態度決定

二十九日東京發。政府與政友會對立。齋藤首相。欲講善後策。二十九日午前九時。在官邸與柴田書記官長熟議。結局此際對政友會。極力欲使其諒解以突破難關。若政友始終固執其主張。威壓政府。則除乎欲出最後手段政府最後的決意。將斷行總辭職。抑解散議會。當俟今後形勢而決。解散斷行之事。政友會出身閣僚有反對。事實上不能。捨總辭職之外。別無他策也。

政府政友間 岡田海相居中調停

政界裏面折衝緊張

二十九日東京電。岡田海相。二十九日午前十時十分與岡田豫算委員長。在院內會見。就議事進行重要議案之妥協。交換意見。次與柴田書記官長協議。從事政府對政友會之對立調停。一方、三土鐵相。同十時二十分。訪望月圭介氏於私邸。作最後的時機折衝。同十時齋藤首相。於午前九時。在院內與後藤農相會見。以本勢米價爲中心而協議。政界裡面的折衝。漸次緊張云。

三品市場 起至新高價

二十九日大阪電。當地三品市場。休日中美棉三圓十錢高。印棉起二圓十五錢。美日滙水落二十仙。綿絲九月限起九圓九十錢達二百一圓三十錢。棉花起三圓五十五錢。六十二圓八十錢。呈熱狂的新高値寄付九十九圓十錢。九月限百七圓。呈新高値。全無賣物。一時立會不得不中止。結局延刻云。

棚瀨氏逝去

二十九日東京電。棚瀨軍之佐氏。自一兩年前。卽患呼吸器病。在鎌倉別邸靜養中。二十八日午後五時十五分逝去。享年六十四歲。

政友會幹部 及各委員長聯合會

豫算決定承認

二十九日東京電。政友會於午前九時。在院內開幹部及豫算委員長外各特別委員長之聯合協議會。就今後審議方針。協議結果。故意欲引延議事。有受誤解之質問宜愼。其他事項。有所約束。同十時散會。續開幹部會。對重要案。協議黨之態度結果。政府提出之豫算法律案。不滿之點多々。豫算不得增額。不得不承認。米穀法改正案。及負債整理組合法中央金庫法案。乃我黨時局匡救之根幹。又最小限度之要求。絕對不應妥協。當一路邁進。以期貫徹也。此說一致。同十時半散會。

民政黨緊急幹部會

米穀法改正負債整理 中央金庫法案俱反對

二十九日東京電。民政黨。二十九日午前九時十分。於院內開緊急幹部會。協議米穀法改正問題。結局米價調節。須一定基準。故反對政友案。正式決定黨之態度。次農村負債整理問題。民政黨置重於小額無擔保之貸付。主管大臣後藤農相。既與我黨提案同一意見。然今後當促進之。政友會提出之負債整理組合中央金庫法案。因實現困難。乃反對之。建議案並決議案之提出。決定中止。同十一時散會。

會期延長 約四五日

二十九日東京電。議會會期延長之事。已成勢所必然。政府於三十日午前開閣議。決定會期延長。執詔書公布手續。方針在乎延長四五日間也。

東京滙水 比前週稍起

二十九日東京電。東京滙水市場。米日二十二弗五十仙。比豫想不甚下落。對美二十二弗四分一賣。二十二弗八分五買。對英一志三片八分三賣。一志三片十六分十一買。比前週來引値。起二波引。多少成盤。

生絲暴騰 立會延刻

二十九日橫濱電。當地生絲請算市場。連日暴騰。休日中內因的生絲暴騰。人氣更沸騰。當限納合。

守備隊司令官 檢閱臺南

外山守備隊司令官。爲檢閱臺南聯隊第三期教育。帶同宮田副官。于二十七日午後三時二十五分列車抵臺南。午後四時。列席臺南公園所舉行臺南鄉軍分會閱兵。及分列式。並是夜第二十三回鬥合。然後一宿。二十八日午前中于臺南練兵場。檢閱狀況是日午前十時三十四分發列車歸北。

元總督 安東大將薨

二十九日東京電。元臺灣總督陸軍大將安東貞美男二十九日午後零時四十五分逝去。享年八十。九重有恩旨如左。

陸軍大將從二位勳一等功二級男爵 安東貞美

授旭日桐花大綬章

男乃長野縣人。明治六年任陸軍少尉。累進至大正四年爲大將。歷任第十、十二等師團長。朝鮮軍司令官。後爲臺灣總督。日露戰爭後。明治四十年嘉其功勞。賜以男爵。

明糖脫稅事件 罵政府擁護資本家

衆議院豫算總會

津雲氏之廣長舌

二十九日東京電。二十九日衆議院豫算總會。午前十時三十六分開會。卽入質疑。

津雲國利氏（政友）前日大藏省。對明糖脫稅。作一種處分。曾揭於新聞。未知然否。

高橋藏相。明糖脫稅問題之處分。未曾開省議。余不關知。此事應於稅務當局決定。

津雲氏。有脫稅事實否。

石渡國稅課長。認知無脫稅事實。

津雲氏。被檢事局摘發。大藏省慌忙再調查。承認幾多脫稅。果如何耶。

石渡課長。再調查結果。昭和二年以來。發見若干稅則違反。此甚遺憾。

津雲氏。川崎稅務署官吏。受明糖賄賂事件摘發之。大藏當局。如何處斷。

津雲氏「中島主稅局長。於橫濱稅關長時代」曾受明糖重役。再三饗應。據中島主稅局長其他當局事官。堀切大藏政務次官。嚴重處分之。

爲何之。

據八月十六日大藏省發表。追徵額僅十三萬圓。罰金六十萬圓。此乃檢事局推達三者反則中最輕者欲以此而掛念了事乎。

石渡課長。詳述檢事局所進達事項之稅務官廳態度。力說。今回處分正當。

津雲氏。明糖如無欺罔行爲。百斤標準步合。用九十五斤。而用九十八斤乃至百三斤。此豈可理解乎。

石渡課長。就百依扱取一依。或增加百分一亦未可知想無以上之事也。

津雲氏。對明糖以九十五斤標準實過度。

石渡事務官長。實驗查定結果。明糖百斤爲九十六斤六四故對明糖不得謂九十五斤爲過輕。

津雲氏更問答後。謂大藏省之措置。乃擁護資本家。關無廢止標準步合之意思乎。

堀切次官。實況同感。就此今後當調查之。

正午一旦休憩。

臺北製糖所 蔗害一成

因倒伏折損

臺北製糖所。關去二十四日。暴風雨之甘蔗損害。已派原料係員于區域內各方面調査中。爲低地蔗園。至二十七日。尙有浸水者。又因交通杜絕。有不能調査之處。故于精確未詳。然比一昨年七月二十八日暴風雨。風力甚烈。瞬強二十一米八。爲最風速三十米以上。第二十米以上卽最風速二十八九米之暴風。互二時間。故甘蔗多倒伏或半倒。並有相當折損及浸水。頗發生出枯心。結局比第一回收穫豫想之五千萬斤。應不免減去一成。卽四千五百萬斤或五千萬斤。于砂糖減産六千餘擔。又七八年期蔗園。總耕作面積約五百甲。其中會社自作百十甲。自作農場之二八七八號占三分。二七二五號七分。而一般蔗園。全部爲二七二五號。二七二五號有倒伏折損。而二八七八號。折損較尠。幸來期自作。縮小爲平時之三分一。故會社之損害較輕。但夏季發育旺盛期。溫度上昇。多日照少雨。于甘蔗生育上。洵爲可喜。若無暴風雨。則來期實收。料有比第一回豫想更增收者。今爲被害減一成。殊爲殘念。蓋會社當事者所談。

總督廿九日早歸北

立卽視察風水害地

中川總督。初巡視東部及澎湖完了。搭二十九日午前六時十九分抵臺北驛列車歸北。歸抵官邸後。立決欲視察市內暴風雨被害地。於午前八時。偕友部警務局長。梛山祕書官。中瀨臺北州知事。奥田警務部長等。發官邸。先到臺灣神社。受山口宮司以下神職出迎。正式參拜。斯時西澤市尹。岩川北署長。亦加入一行。視察水害地。總督於車中與中瀨知事同乘。車至圓山運動場。北署金子巡查殉職之處時。特停車感慨無量。據詳細說明。由是出大稻埕。立於大橋中央。由內務局濱田技師。岩川北署長。中瀨知事等。稍々說明。濱田技師。就明治四十五年暴風雨。河川氾濫狀況并對此當局之施設。互過去將來現在。詳細說明。總督對於水害後備牛。特與注意。然後往萬華河岸。高山南署長依地圖。爲種種說明。總督質以吾人現立之處。在何處。南署長。答以地圖不得要領。乃步往流失之邱悉拉（寄客席）前。說明當時狀況。總督感慨殊深。種種協問。一同乃乘車。到川端。在堤防上。由濱田技師。對于護岸。爲一番說明。中瀨州事補足之。其後更由濱田技師申告。爲救臺北市之水害。將川端之堤。計畫較現在更高一尺。現正進行中。總督互一時四十分間。熱心視察水害狀況。然後經水道町。歸官邸。

臺北市內 環以護岸

談水害對策

總督偕友部局長。中瀨知事。西澤市尹。互一時四十分間。視察水害地。談對策如左。

余在利奇利奇。接到被害消息。及抵高雄。始知風雨害甚大。合新竹臺北兩州。死者達百餘名。爲是中止日月潭。阿里山二處視察。急遽歸北。視察水害之跡。余所感者。爲防臺北市之水害。與防郡部之水害須分爲二段。直接感觸者爲臺北市。宜以護岸包圍。完備水溝。水溝非暗渠不可。若然。或至某程度。得以防止之云。

視察新竹 被害地

聽知事報告

總督。歸北途中。就新竹州下被害狀況。由內海知事。自新竹驛。偕到臺北在車中。概略報告。又總督。決于本三十日午前九時。乘自動車。往新竹。視察同州下被害實況云。

州下被害

教育課調查

據臺北州教育課調查。州下浸水家屋。臺北市一萬七千九百二十六戶。基隆市千七百七十八戶。其他郡部一萬五千四十二戶。倒壞其他破損家屋。臺北市三百二十三戶。基隆市二百二十七戶。其他郡部四千四百十七戶。救護人員臺北市一千人。基隆市二千人。其他郡部一萬二千百人云。

銀行株騰、電力株跌

雜株概稍復

臺銀自內定配當三分後。前途樂觀。遂有買物。其後新舊續騰一圓左右。日銀降利及公債株式强勢。勸銀獎一圓。二十四銀獎二圓。島內銀行株。亦做買行。漸有小口買物。擬日次期臺銀配當復活。商銀新、彰銀、華銀等各稍漲大。臺灣電力。因滿水害損增。賣物續出。配當後之舊株二十一圓二十錢。新株十五圓二十錢。比一時新舊々跌三圓八十錢。臺灣齊產。于九月總會。配當復活五分（前期無配）。亦見稍騰。臺灣鐵工。因製糖會社之次期生產制限機械製作修繕減少等。以此業績低下。亦跌八十錢。東光油脂。價値十圓。比一時獎五十錢。

時評

○匪賊襲擊奉天。不外禍亂重疊中一波瀾。然不久當能風恬浪靜。

○臨時議會諸重要法案。不可不通過之。政友會目的似不在倒閣。意者顧念及此歟。

○二百十日之厄日。若克無事通過。米價。益不可不設法維持。

○鳳山丸女乘客。金密輸出。可見利之所在。人爭趨之。但有犯於金制則不可。

○新莊郡下暴風雨害。殊如被湮沒之田園多。此後河川之整理。堤防之修築。非合策群力。不足以根本的解決之也。

○基隆慶安宮中元。耗費孔多。此後加以節約何如。

○惡漢深夜懷刀。騙取村店財物。宜課以重法。維持治安。

基隆市暴風雨害 復舊費二萬餘圓

由市改正費先撥充

基隆市役所。現調查暴風雨害。大體約三萬圓。其中急要復舊者。經費約二萬四、五千圓。但該費用無從支出。於是幹部間欲將借入市區改正工事費一部分充用。去二十九日午後二時。開磋商會。解決諸事。又基隆神社之被害。經由奉讚會手修繕云。

臺灣米陳情團 在京解散

後事託局長

臺灣米移入制限反對陳情團。二十八日。電到本社如左。

米穀統制問題。政府案與政友會案衝突。擱坐暗礁。然以率勢米價之廢止。及一億三千萬圓買上案。似妥協成立。因議會進行遲緩。二十七夜。與東京米穀取引所幹部座談會。爲最後。我等陳情團。乃行解散以後之事。懇託殖產局長。郭謝兩氏之受傷。而就痊癒。

▲貝山馮氏先歸

臺灣米上京陳情團一行。旣如前報。去二十七夜。與東京米穀取引所幹部。

義務教育費增額案

委員會通過

二十九日東京電。義務教育費國庫補助金。欲增額一千二百萬圓之市町村立小學校費臨時補助法案（政府提出）委員會已滿場一致。可決原案。

中壢郡業佃會 滿五週年

記念行事

中壢郡聯合業佃會。自昭和二年八月三十一日。創立以來。卽傾注全力於兩者之親善融和。至今效果顯著。年契約面積。田一萬四千六百餘甲中。有八千三百餘甲。畑二千七百三十餘甲中。有七百七十餘甲。業佃會員。五千二百六十七人。依其數實行獎勵增收。創立以前。每甲平均收穀。舊斗二十七石八斗八升。今年平均三十一石三升。爲現時不景氣打開策之一端。本年值創立滿五週年記念。訂月三十一日記念日。郡下各街庄業佃會。取同一步調。印刷數萬枚之宣傳單及揭示聯配付與各戶。並開上映宣傳活動寫眞。或開講演會。中尾郡守馬場庶務課長。森山勸業主任徐主事等。交代出張於各街庄。努力宣傳。日程如左。

八月二十八日。平鎭庄森山徐技手。同二十九日。楊梅庄森山徐技手。三十日。新屋庄馬場庶務課長徐技手。三十一日。觀音庄中尾郡守徐技手。九月二日。中壢街中尾郡守馬場庶務課長徐技手其他。

籌改市區

臺南市西門町通

臺南市。市西門町通市區改正。有後壁地主者。愼當其街面地主之不公。特扣後壁地主台。去二十六晚。本擬定假武廟佛祖廳開磋商會。因是晚風雨交至。以是變場所於西門町一丁目永合成材木商行內。會議結局。決議如左。

一、考究速成會內容。

二、研究前後地主相抵。

三、助成市上美觀。及新築

四、促進步道卽時開通。

以上四條。另具詳細。乘發合會訂來九月三日。向諸會員一般討論云。

馬公驅逐隊

出基隆港

馬公所屬第二十五驅逐隊。因暴風雨。遲一日入基隆港。故出港。亦延期一日。去二十九日午後五時。受多數官民送行出帆。

東京文理科內田教授 撮影馬公要塞地

軍部擬嚴重處分之

二十九日馬公特電。前番來澎湖視察中之東京文理科大學教授。內田寬一氏。在澎湖島要塞地帶。不爲正式手續。肆行撮影。事被軍部探知。由憲兵隊及警察方面活動。軍部擬欲出以斷乎之處置云。

臺南警署 取締失業者

拘無錢遊興

臺南署。近風傳有多數失業者。常在旗亭。無錢遊興。去二十七日晚。召全刑事出動。檢擧熊本縣人川住市內濱町。前科五犯原川正則。年二十五。是晚身不帶一文。在一福亭宴飮中。被發覺。又鹿兒島縣人。現住老松町。小倉重利。年四十二。外二名。在西門町小公園。本島人飮食店。無錢飮食。亦被檢束。又新竹市東門町人山本末彥。年三十一。赴市內某々方面。強要金錢及飮食。同時被拘判本者。各受處罰。及拘留處分。頃收等乃條木匠。因無工作。浮于翔日。遂出走乘。同署若放任之儷犯重罪。今後擬欲嚴重取締之云。

柳營役場

落成誌盛

新營郡柳營庄役場。新築落成式。去念八日上午十時起。開於同會議室。招待川村內務部長。細井地方課長。樂滿郡守。平非藏原課長。及郡下各街庄長助役。其他關係者等。三百餘名。席上首由劉助役宣告開式。兒玉氏工事報告。創新築費七千五百圓敷地買收費千餘圓。其他總工事費一萬餘圓。建築分事務室。會議室。煉瓦造平家。七十三坪。附屬建物二十一坪。次劉庄長式辭。樂滿郡守訓示。川村內務部長告辭。伊藤鹽水街長。郡下街庄長總代祝辭。當地前清秀才劉獻池氏。代讀酒井元新營郡守祝辭。式終。記念撮影。隨開祝宴。二時盛況裡散會。又三十、三十一、兩日間。各自午後七時起。在同會議室。公開無料新築記念電戲。供庄民一般觀覽

第六朝日丸 出漁不歸

諒已沈沒

既報基隆市蓬萊水產會社所有第六朝日丸。發出漁中。歸途遇暴風雨。至今尙未歸港。關係者等。極力搜索。不見頭緒。去二十八日。該會社幹部。覺悟絕望。開善後磋商會。就乘組員十名葬儀。及其他遺族弔慰金等。種々協議。據第七朝日丸船長所談。同船與本船。歸至基隆港附近。因被風雨及激浪所隔。踏路入港。致踪跡不明。疑被激浪擊沈云。

全島魚市場

出貨激減

水產課調查

據總督府水產課調查。昭和六年中。全島魚市場之鮮魚辨理額。八千五十四萬八千八百二十六斤。價八百二十六萬七千二百十七圓。較之前年。數量減九百八十八萬五千二百六十五斤。價減一百八十九萬七千百五圓。鮮魚辨理額。破一千萬圓者。爲近年稀有。又全島魚市場數八十三處。比前年增四處。又單價前年十二錢三厘。本年爲十錢三厘。跌下二錢云。

自動車轢人

梁街長受取調

新化街長梁道氏。年過不惑。去二十六日上午九時半。操縱自動車。由新化出發。向新市開道路行走中。撞倒新化街路南大圳組合員下地文信。年四十二。下地不關關節及其他。各市依二週間裂傷梁道氏。以過失傷害罪。被郡司法取調中。

檢擧密注射 毛非九名

購自某醫師處

臺北市太平町人。許徐氏陰。年四十。與情夫黃淮浦。年四十八共謀。密賣毛非及對毛非患者注射。日前被北署刑事探知。檢擧關係者九名。調査結局。自白經營來町人。高燐年年六十之手。對日新町某醫師藥局生。黃萬年二十五購買。又被檢擧者如左市內永樂町人陳 年三十七。▲內市永樂町人陳延龍（四二）▲市內太平町張家（五一）▲中國人住所不定陳金（三三）▲市內永樂町人趙炎發（二七）▲市內下奎府町中國人林妹官（四三）▲住所不定周文和（二六）▲市內永樂町人陳紅英（二八）▲市內太平町人呂火旺（六三）

問客無償云。

客散殺客

嘉義市東店三七一。吳紅毛家。去二十六日晉晚。招待知友及隣人。同日午後九時席散。其中同市東門町人陳丞笑。年二十七。及嘉義郡水上庄獅子林人羅文瑞。年約三十五六兩人同出主人宅前路上。羅文瑞。持菜刀欲斷陳之左手拇指。登時逃脫。原因不明。目下查究中云。

竊米多回

嘉義市元町一丁目四三前科一犯現住所不定江樹碧。年四十二。本年三月起所致蹤中。二十六日午後四時頃。在同町三丁目。竊取村民白米一小袋。被嘉義署刑事發現。拘入司法室訊問。自白自七月起至今。對市西市場。及本島人雜貨店等。竊取白米。油肉雜貨而後。計二十二回。外尙有餘罪待訊云。

車轢行人

嘉義市西門町四四。陳木母。年十五。二十七日午前九時半頃。至市內東町商興號。同市元町六丁目四五大阪店所雇。乘自轉車。至同所誤傷右手兩足。及肛門出血。卽入四生病院。治療一週間云。

牧童溺死

嘉義郡溪口庄柳尾人黃川之姪黃天賜。年九。月二十三日午後一時頃。在庄外埤畔牧羊。誤陷埤中溺死。

斗六

設講習所

斗六街爲普及國語。由該部落。設國語講習所。訂九月一日開會。會員男三十七名。女三十二名。計六十九名。講師乃斗六公學校訓導郭伸忠君。

金品遺落

斗六街西庄尾人黃□□。去二十七日午前八時。自斗六欲往大崙。將現金十八圓四十錢。並富士綢衫一領。包在市內一手自轉車。途中遺落。卽對警報備者。將與相當報酬云。

酌婦自殺

斗郡斗六街斗六內地人料亭花屋酌婦。本籍佐賀縣山口シツ。年二十四。去二十七日午前一時。嚥下多量殺鼠劑。苦悶時被發見。雖至急施救無效。至午後三時死亡。原因傳似與州衛生課員竹田某。竹田某家有妻子。而前借金之六百八十圓。不能償還。終難圓白首。遂生厭世自殺云。

嘉義

藝蘭品評

嘉義市內愛蘭家。約四十餘名。晚近漸見增加。有志者中。前年組織愛蘭會。每年開催品評會。以受一等賞者。爲次年主催者。本年輪値周瑞興氏承辦。決定來月中旬。假羅山信組新事務所內開催。現正籌備一切。

納涼廉賣

嘉義商業協會。鑑于年來不況。擬利用城隍祭典中。開納涼大廉賣會。定九月一日起五日間。假大同自動車前主催。高設綠門。裝飾電燈。日間演唱梨園。夜間映照活動寫眞。參加商店四十餘舖云。

交御賜金

嘉義郡。來三十日起三日間。每日午前九時。在會議室。豬口郡守。爲此回郡下各庄水害災民十九名。爲御下賜金交付式云。

豫防剪紐

嘉義城隍例祭。有觀賽會。被奇扭剪竊現金者頗多。爲豫籌有鑑及此。本年祭典期將屆。日下各刑事。出爲搜查。對有斯癖者。全部檢擧留置。以保

西螺

愛婦募員

西螺街。於月二十一日。有虎尾郡守。及警察。庶務兩課長諸夫人。到西螺街。由街長夫人導往訪問街中有力者。勸募集愛國婦人會員。得三十餘名。

稻苗良好

西螺方面自去七月中旬。農家播種時。前番遇大雨。稻苗浸水甚少。其後天氣順調。氣候溫暖。稻苗發育頗好。此次風雨。並無損害。此後若無蟲害。晚季仍可卜豐歉云。

新竹

勸誘出品

太阪市關西書道會。以文部省後援。來十月二十六日起三日間。開第二回展覽會。出品期至十日截收。關動將出品與選定審。去二十六日。正努力募集新竹書家。

事務監查

新竹州寺師來課長。自二十日起。三日間。偕同郡屬。出差至香山信購利合。監查事務。

納涼音樂

去二十七夜七時。新竹市納涼音樂會。開於公會堂。是夜參加唱歌。併奏樂演劇舞蹈等項者。有女子青年團。小公學兒童音樂會員。鄰校教職員。小公學生等。回數午前中十二回。午後十三回。頗呈盛況。

特科筆試

新竹州于二十九日上午八時起在警務部學術講習室。召集受驗巡查。執行特科生採用筆試試驗官委囑稻田警部。

詩

客居偶作二首　笑傻　楊樹德

倦鳥知還覓故枝。四圍野色望迷離。夕陽猶出無聲畫。夜雨吟成有韻詩。空谷寒花同我瘦。舊家玉樹爲誰移。桑榆回首關情甚。況復江干落拓時。

燕風吹夢故鄉山。客程潛人尚未還。辛苦頻忘雙鬢短。飄樓且寄一身閒。摸食消息勞青鳥。空向樂籠若白鷳。梁市吟餘高臥慣。豈容俗客叩柴關。

叢談

十三年不食

孟買函云。印度周得里有一婦人。是一織布工人妻。子年三十。已十三年不吃滴水一粒飯。雖然十三年不吃茶飯。身體却常健康。並且還生過三個孩子。當地長官。最近也曾去訪問。據說有一次伊從丈夫家裡。回到娘家去。走到中途。忽然倒下昏迷。醫生用盡種々方法。使伊開口說話吃東西。但完全無效。而且伊身體。却依然健康。好說伊們去。但經過二年之久有一天伊忽然開口講話。但伊仍不吃東西云。

英美滙水

廿九日	
英美電信	三弗四六仙四分三

金塊行情

廿九日	
上海金塊	六八九兩

銀塊行情

廿九日	
倫敦現物	一八片八分三
同　先物	一八片二分一
紐育現物	二九仙一〇
同　先物	三〇仙六〇
大連現物	一〇四圓八〇錢
同　先物	一〇五圓二〇錢

對外滙水

二十八日臺銀調	
倫敦電信賣	一志三片
紐育同	二二弗
孟買同	八二留比
新嘉坡同	一八三圓二分一
爪哇同	五五盾
馬尼剌同	二〇〇圓
上海（參着賣）（同電賣）	六五兩二分一 一〇五兩
漢口參着賣	五七兩二分一
福州同	一〇五圓二分一
廈門同	一〇五圓二分一
汕頭同	一〇五圓二分一
香港同	一一三弗
廣東同	一一三圓